
**子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書**

**平成26年3月
日の出町**

目 次

調査の概要	3
（1）調査の目的	3
（2）調査対象（種類）	3
（3）対象者の抽出	3
（4）調査の方法と期間	3
（5）回収数（率）	4
（6）集計結果の表記方法	4
1. 子どもとご家族の状況	5
2. 子どもの育ちをめぐる環境	13
3. 保護者の就労状況について	21
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	41
5. 地域の子育て支援事業の利用状況	53
6. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	59
7. 病気の際の対応について	69
8. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	77
9. 放課後の過ごし方について	83
（1）就学前児童	83
（2）就学児童（小学生）	92
10. 職場の両立支援制度について	104
11. 子育ての環境や支援について	113

調査の概要

(1) 調査の目的

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

(2) 調査対象（種類）

①『就学前児童の保護者用』

- ・平成25年4月2日以降の出生児から平成26年4月に新1年生になる児童まで

②『就学児童（小学生）の保護者用』

- ・小学1年生から小学6年生

(3) 対象者の抽出

○抽出日:平成25年8月23日（金）

○抽出方法

対象者のおよそ半数（974人）を抽出（同世帯での重複抽出は避ける）

対象者1,938人（0才から小学6年生までの子どもの人数）

うち、抽出した子ども数974人

（974人／1,938人 ≒ 約50.3%）

※世帯数でカウントした場合：対象世帯1,133世帯

（0才から小学6年生までの子どもがいる世帯数）

うち、抽出した世帯数974世帯

（974世帯／1,133世帯 ≒ 約86.0%）

(4) 調査の方法と期間

- ・調査発送 平成25年9月27日（金）
- ・調査期間 およそ15日間
- ・回答期限 平成25年10月11日（金）（ポスト投函期限）

(5) 回収数 (率)

	配布数	回収数 ※	有効回収数 ※
① 学前児童保護者	536 票	251 票 (46.8%)	247 件 (46.1%)
② 学児童保護者	438 票	205 票 (46.8%)	200 件 (45.7%)
合計 (①+②)	974 票	456 票 (46.8%)	447 件 (45.9%)

※回収数：白票、締切後一定期間経過後の到着分など

有効回答数：締切後一定期間内に到着し集計の対象としたもの。

(6) 集計結果の表記方法

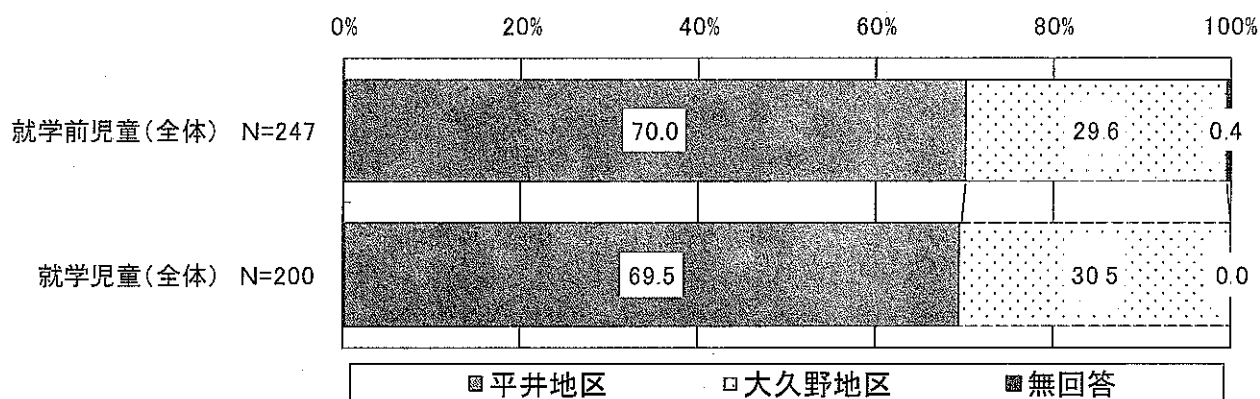
- ① 分析文中、図表において、『就学前児童の保護者用』（以下、「就学前児童」という）、『就学児童（小学生）の保護者用』（以下、「就学児童」という）と表記しています。
- ② 「就学前児童」と「就学児童」の共通設問が多くを占めるため、共通設問については、並べて比較できるように構成しています。なお、設問文の表記は、就学前児童調査の設問番号を基本に表示しています。そのため、共通設問の就学児童の設問番号は、設問文の最期に「(共No.)」と表示しています。
- ③ N (n) は、質問に対する無回答を含む集計対象総数で割合算出の基準です。N (大文字) は全体数、n (小文字) は限定設問やクロス集計等で、回答者の一部を集計したものです。
- ④ 割合は、N (n) に対する各回答数の百分率 (%) です。小数点以下第2位を四捨五入し小数点第1位までを表記し、1人の回答者が1つの回答をする設問では、100.0%とならない場合があります。
- ⑤ 1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問は、各選択肢の割合の合計は100.0%を超えています。
- ⑥ 年齢等を数値で回答する設問（数量回答）では、区分分けをして集計しています。
- ⑦ クロス集計表の表側（分類層）は、無回答を除いているため、各層の実数と集計対象総数が一致しないことがあります。
- ⑧ グラフや表の選択肢（カテゴリー）は、文字数の制約のため、簡略して表記している場合があります。
- ⑨ 自由意見は、数多くの回答をいただいているため掲載を省略しています。

1. 子どもとご家族の状況

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。(共1)

- 就学前児童の住まいの地区についてみると、「平井地区」が70%、「大久野地区」が29.6%となっています。
- また、就学児童についてみると、就学前児童と同様に、「平井地区」が69.5%、「大久野地区」が30.5%となっています。

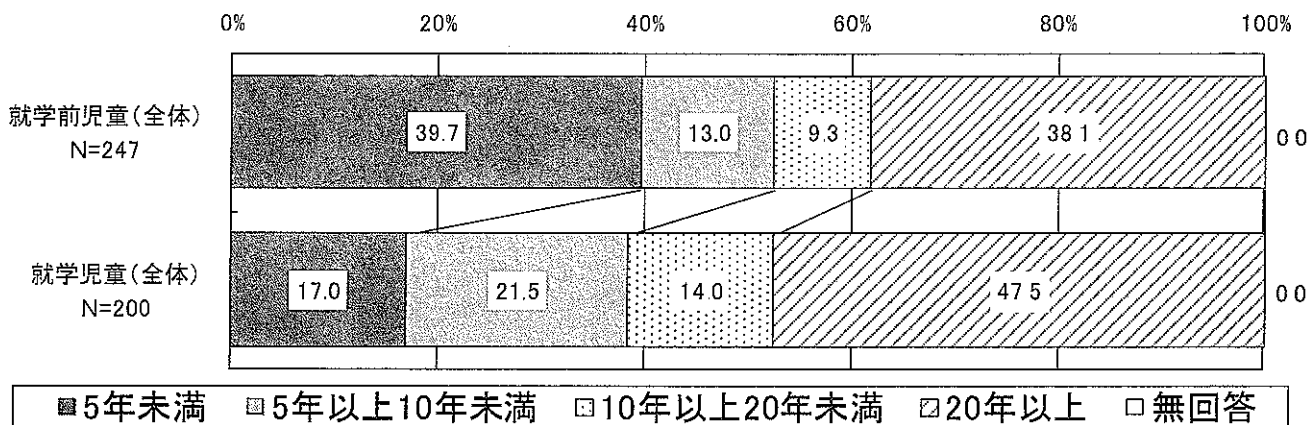
図表1 居住地区（単数回答）



問2 宛名のお子さんと同居しているご家族の中で、日の出町に一番長く住んでいる方の居住歴を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(共2)

- 就学前児童の同居家族の居住歴についてみると、「5年未満」が最も多く、39.7%となっています。次いで「20年以上」が38.1%、「5年以上10年未満」が13.0%、「10年以上20年未満」が9.3%となっています。
- 就学児童についてみると、「20年以上」が最も多く、47.5%となっています。次いで「5年以上10年未満」が21.5%、「5年未満」が17.0%、「10年以上20年未満」が14.0%となっています。

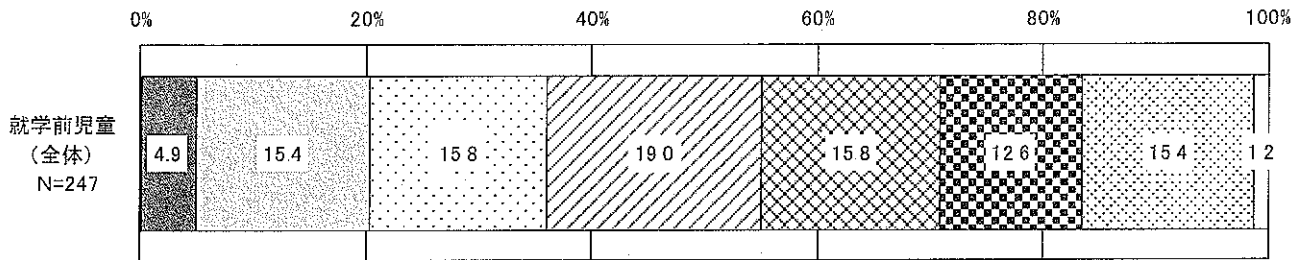
図表2 同居家族の居住歴（単数回答）



問3 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(共3)

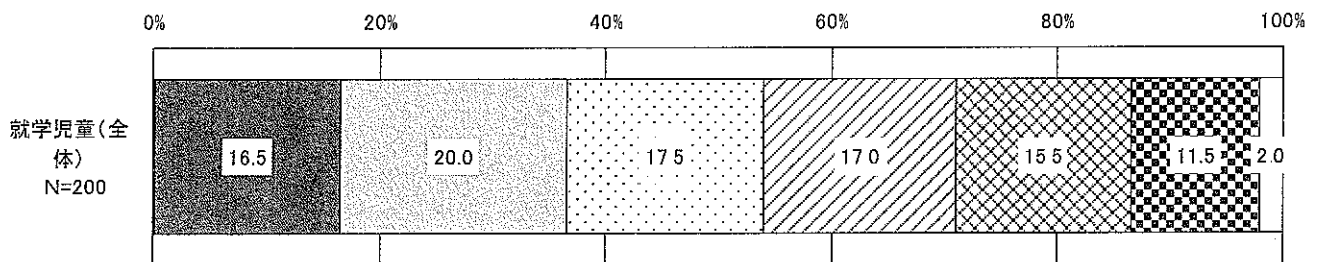
- 回答があった子どもの誕生年度についてみると、就学前では、「23年度生まれ」が最も多く、15.8%となっています。次いで「21年度生まれ」が15.8%、「24年度生まれ」が15.4%、「19年度生まれ」が15.4%となっています。
- 小学生の学年についてみると、「2年生」が最も多く、20.0%となっています。次いで「3年生」が17.5%、「4年生」が17%、「1年生」が16.5%となっています。

図表3 子どもの生年月（誕生年度）／就学前



■25年度生まれ □24年度生まれ □23年度生まれ □22年度生まれ □21年度生まれ □20年度生まれ □19年度生まれ □無回答

図表4 子どもの生年月（学年）／就学児童

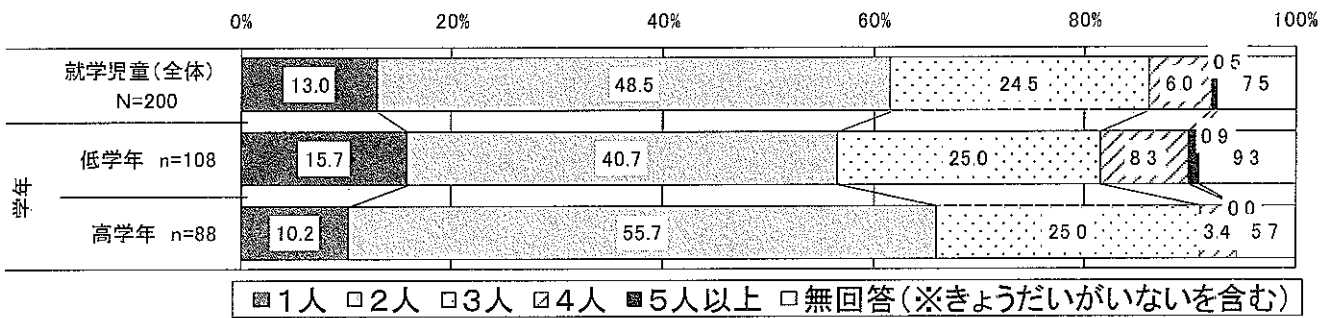
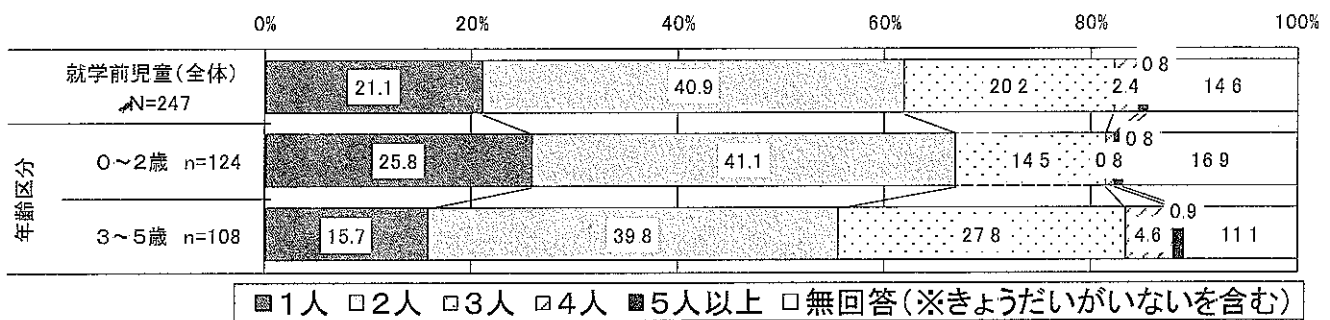


■1年生 □2年生 □3年生 □4年生 □5年生 □6年生 □無回答

問4 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を〔 〕内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。(共4)

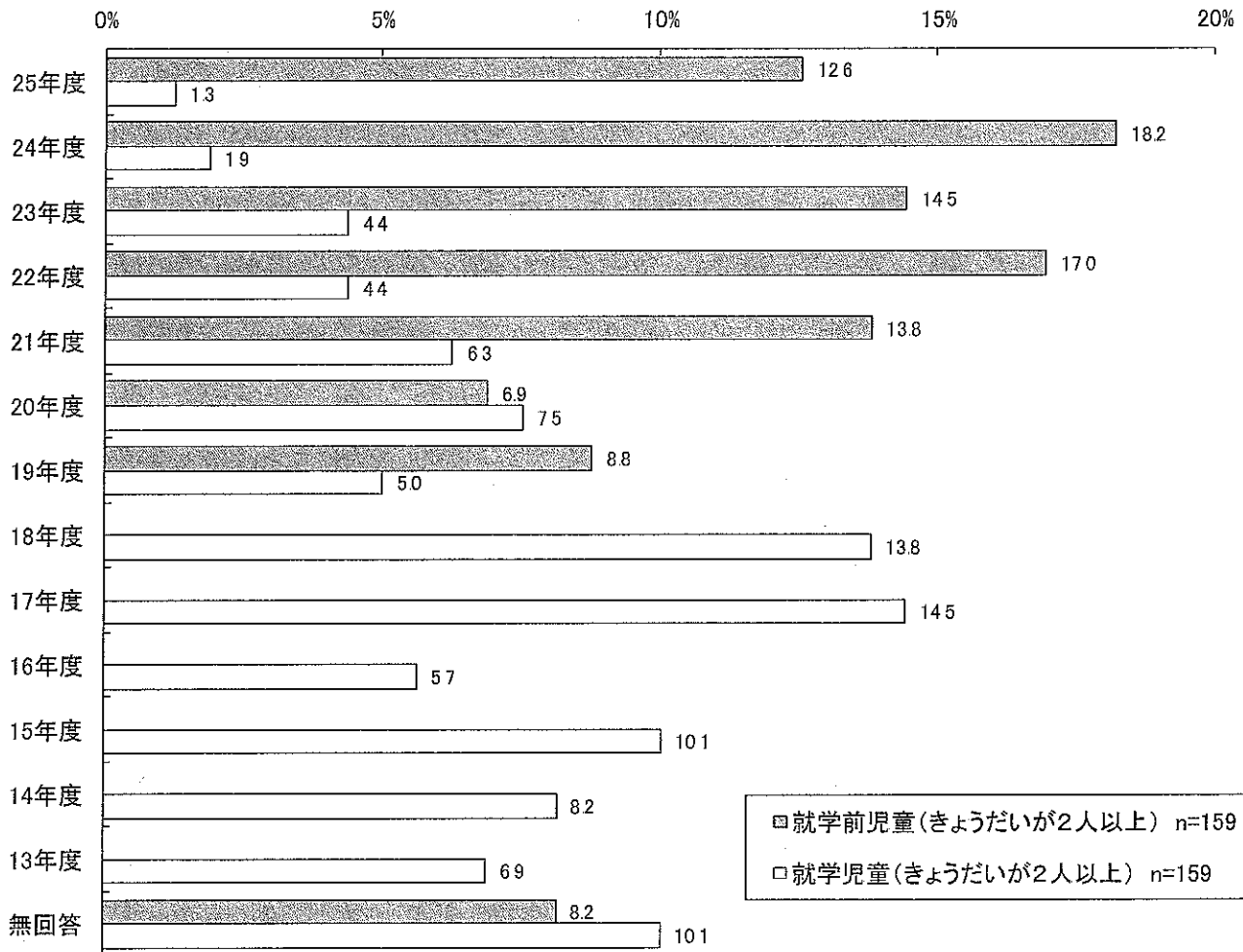
- ・就学前児童のきょうだいの人数についてみると、「2人」が最も多く、就学前児童が40.9%、就学児童が48.5%となっています。
- ・次いで、就学前児童は、「1人」が21.1%、「3人」が20.2%、「4人」が2.4%となっています。
- ・次いで、就学児童は、「3人」が24.5%、「1人」が13%、「4人」が6%となっています。

図表5 きょうだいの人数／就学前



- ・末子の生年月（生年度）についてみると、就学前児童では、「24年度」が最も多く、18.2%となっています。次いで「22年度」が17%、「23年度」が14.5%、「21年度生まれ」が13.8%となっています。
- ・就学児童では、「17年度」が最も多く、14.5%となっています。次いで「18年度」が13.8%、「15年度」が10.1%、「14年度」が8.2%となっています。

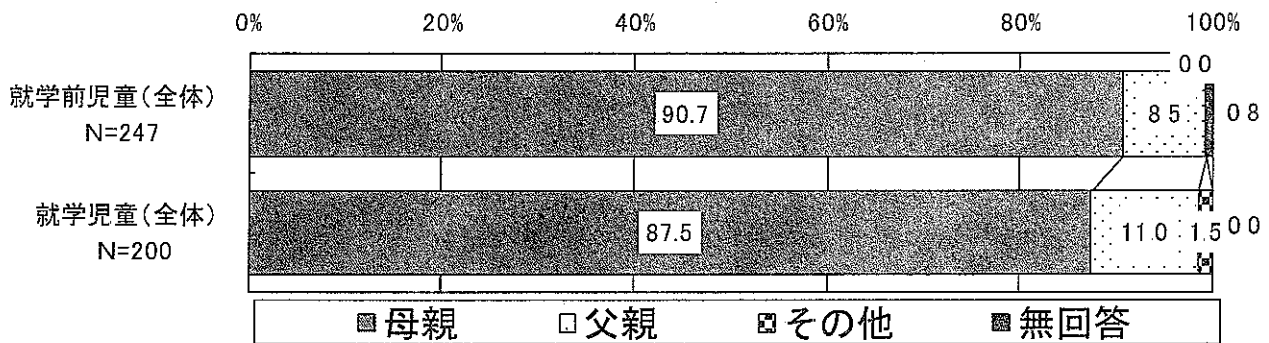
図表6 末子の誕生年度



問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(共5)

- 回答者の続柄についてみると、「母親」が最も多く、就学前児童が90.7%、就学児童が87.5%となっています。
- 「父親」は、就学前児童が8.5%、11.0%となっています。

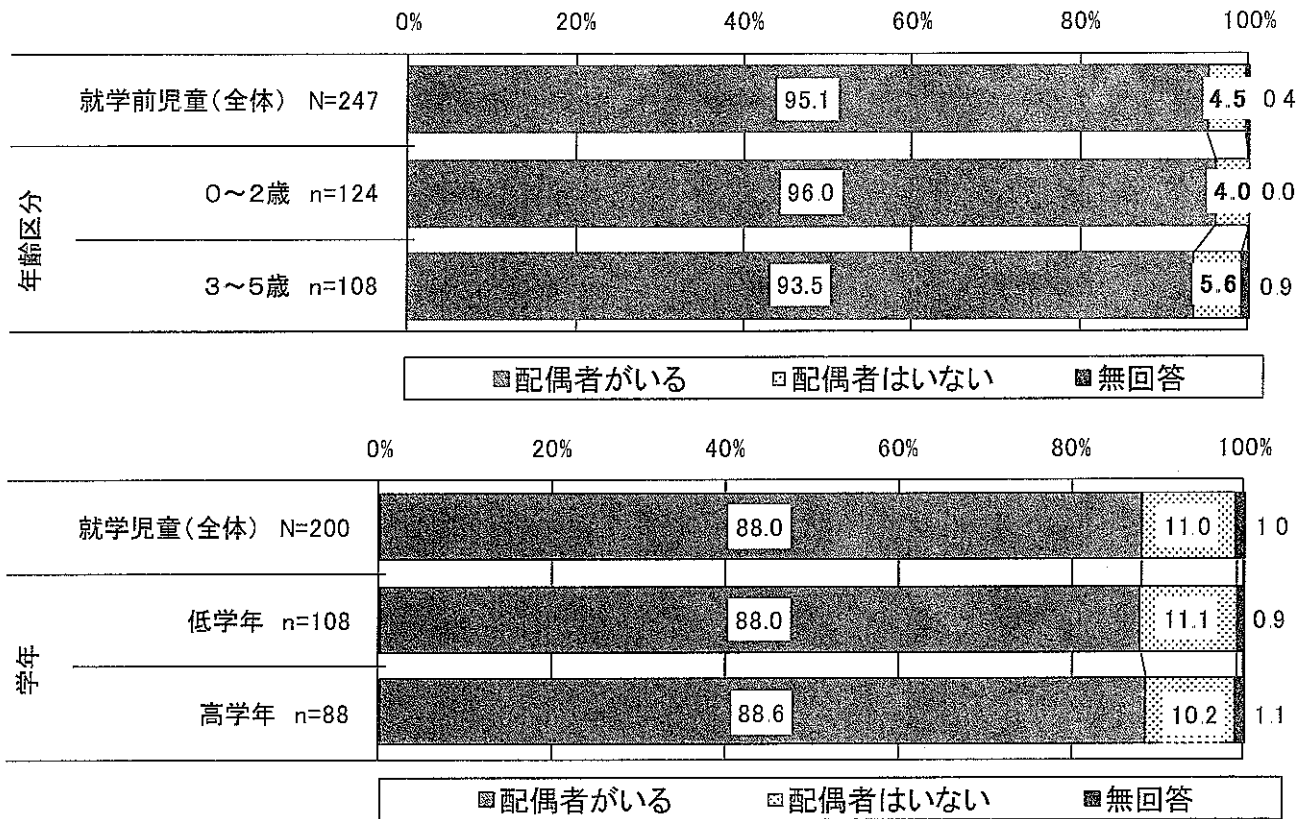
図表7 調査票の回答者



問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(共6)

・回答者の配偶者の有無についてみると、「配偶者はいない」割合は、就学前児童が4.5%、就学児童が11.0%となっています。

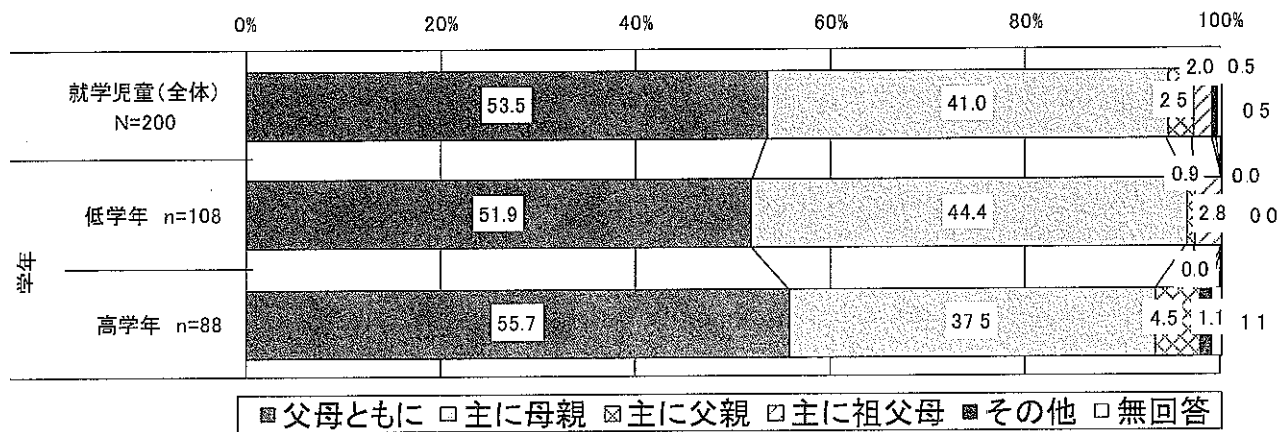
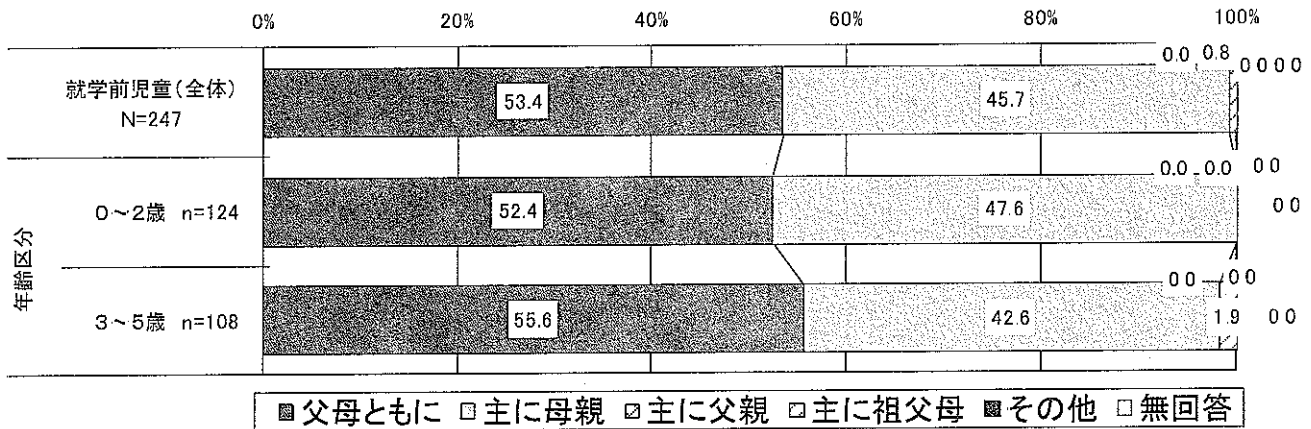
図表8 配偶者の有無



問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。（共7）

・主に子育てをしている人についてみると、「父母ともに」が最も多く、就学前児童が53.4%、小学生児童が53.5%となっています。次いで「主に母親」が多く、就学前児童は45.7%、就学児童は41.0%となっています。

図表9 宛名の子を主に子育てしている人（単数回答）

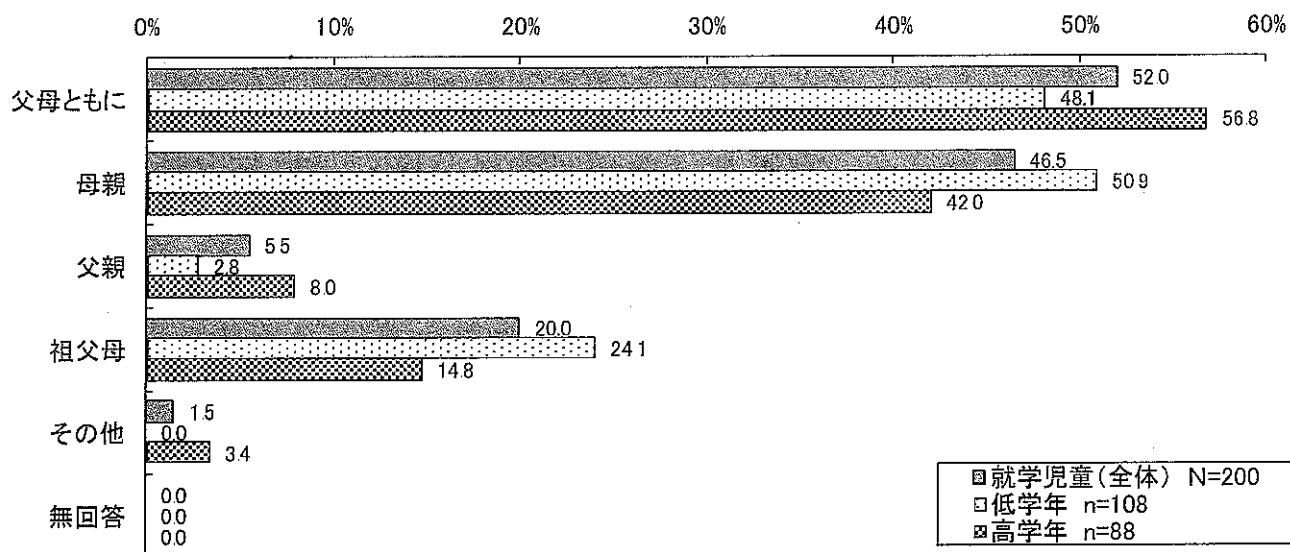
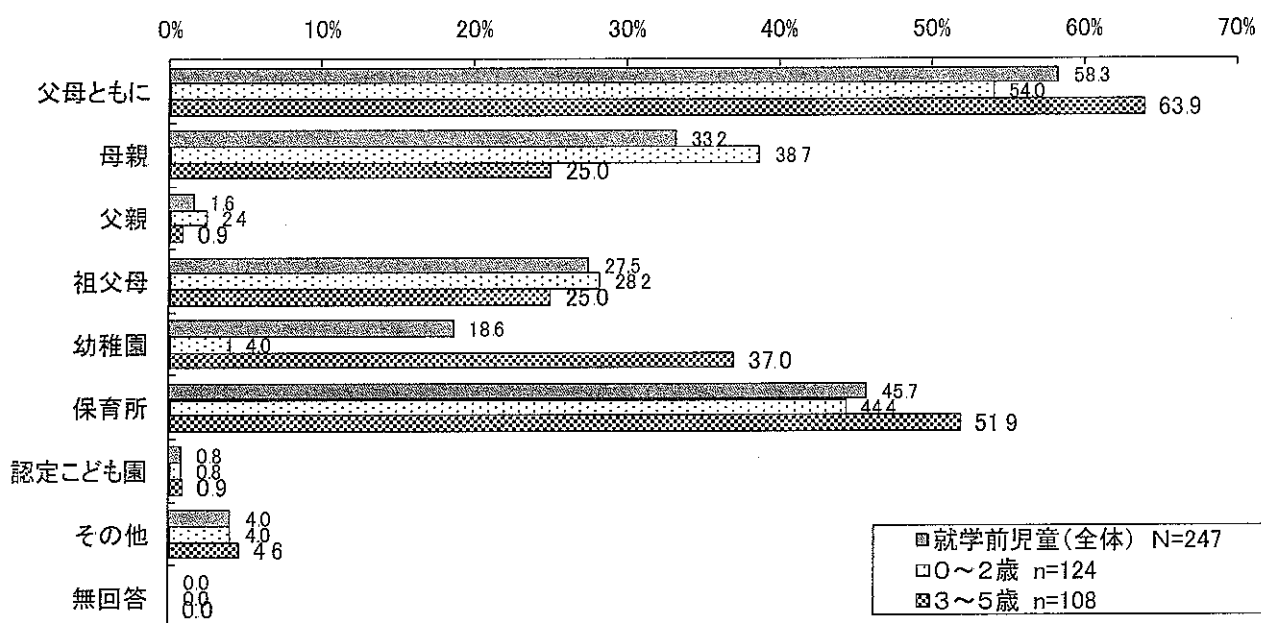


2. 子どもの育ちをめぐる環境

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。（共8）

- ・日常的な子育て者（機関）についてみると、「父母ともに」が最も多く、就学前児童が58.3%。就学児童が52.0%となっています。
- ・次いで、就学前児童は「保育所」が45.7%、「母親」が33.2%、「祖父母」が27.5%となっています。次いで「母親」が46.5%、「祖父母」が20%、「父親」が5.5%となっています。

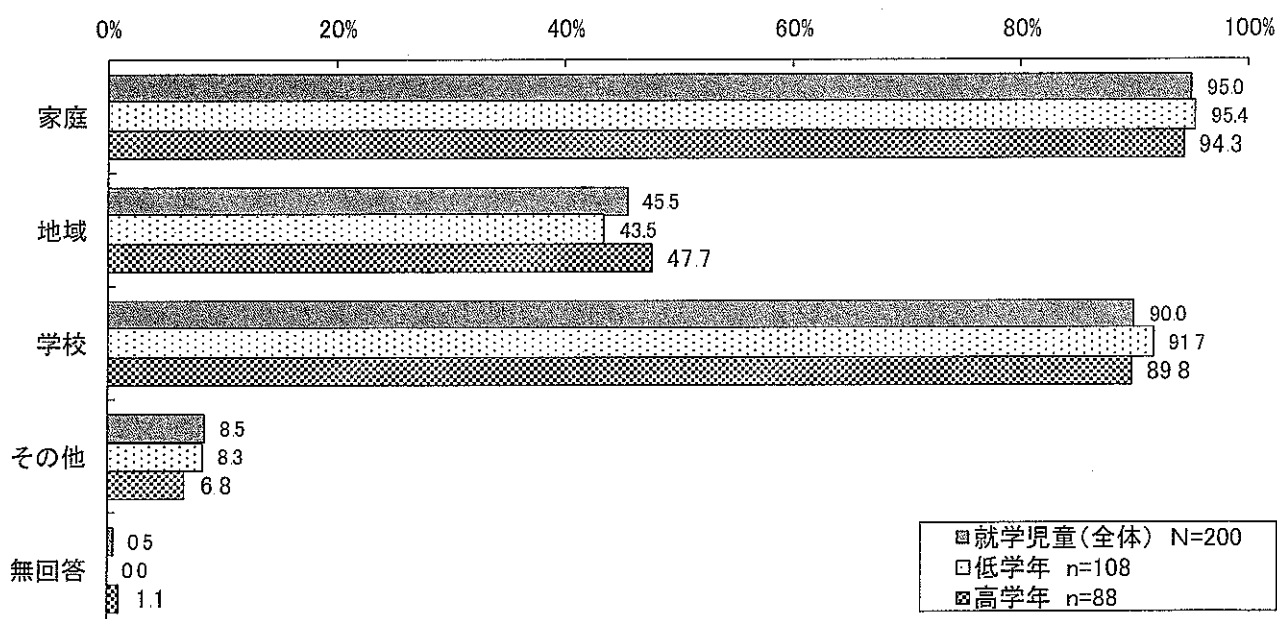
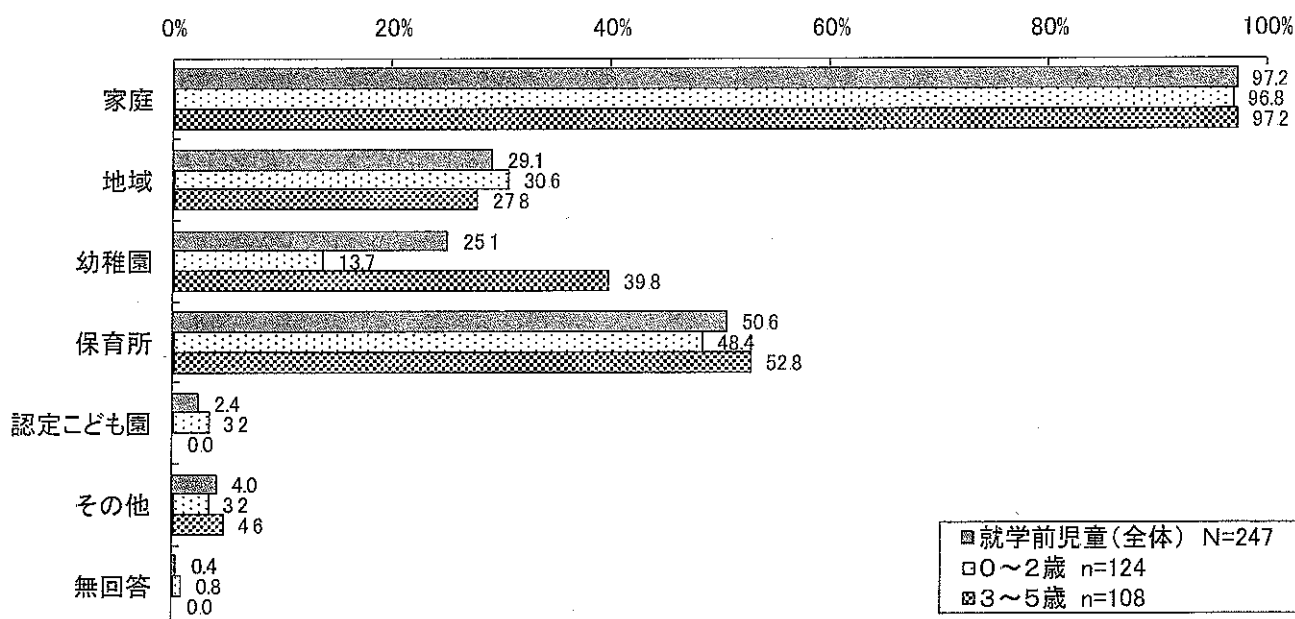
図表10 子育てに日常関わっている人（機関）（複数回答）



問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、強く影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。（共9）

- ・子育てに強く影響する環境についてみると、「家庭」が最も多く、就学前児童が97.2%、就学児童が95.0%となっています。
- ・次いで、就学前児童は、「保育所」が50.6%、「地域」が29.1%、「幼稚園」が25.1%となっています。就学児童は、「学校」が90.0%、「地域」が45.5%、「その他」が8.5%となっています。

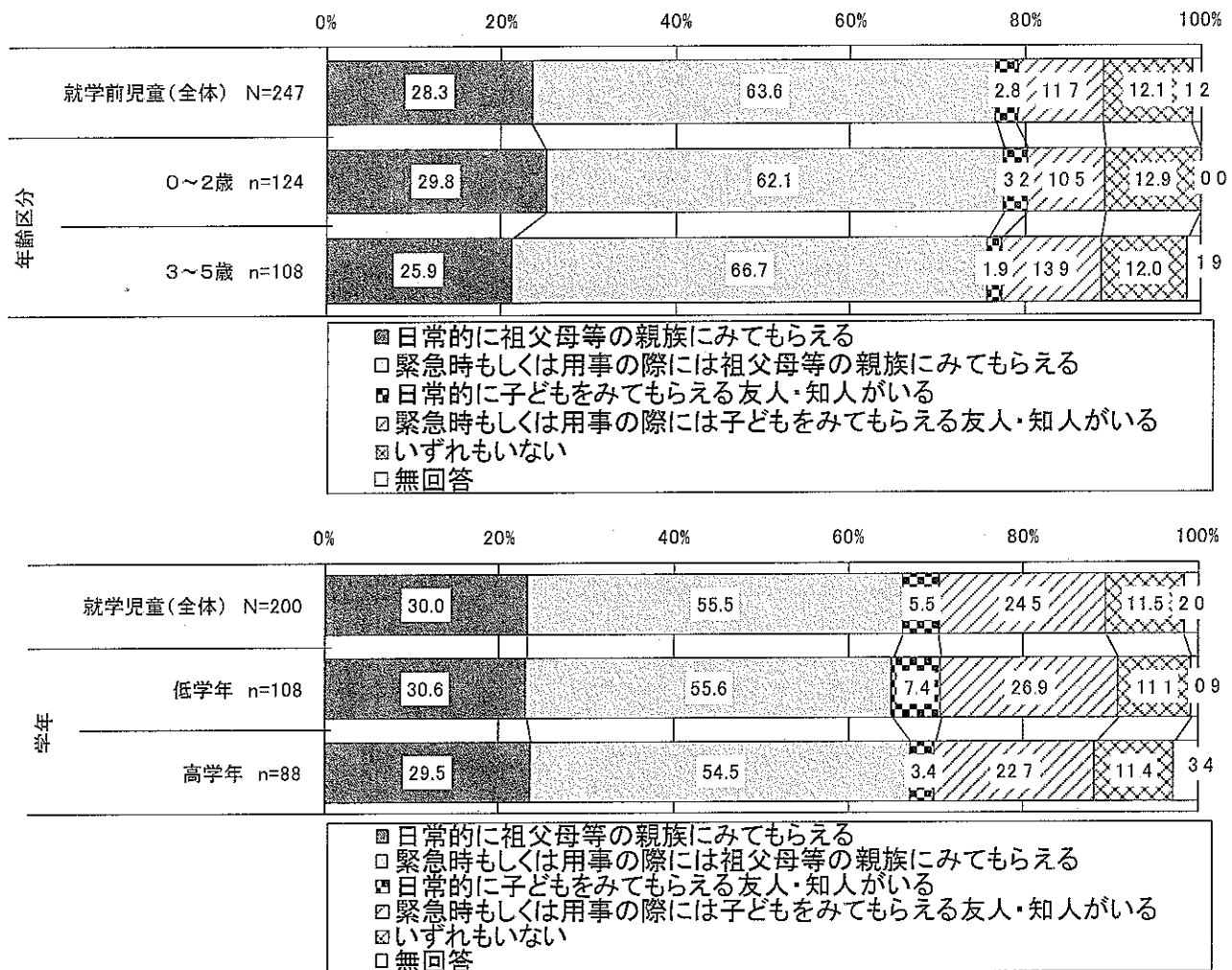
図表11 子育てに強く影響をされるとされる環境（複数回答）



問 10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(共 10)

- 子どもをみともらえる親族・知人の状況についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く、就学前児童が 63.6%、就学児童が 55.5%となっています。
- 次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が多く、就学前児童は 28.3%、就学児童は 30.0%となっています。
- 「いずれもない」割合は、就学前児童が 12.1%、就学児童が 11.5%となっています。

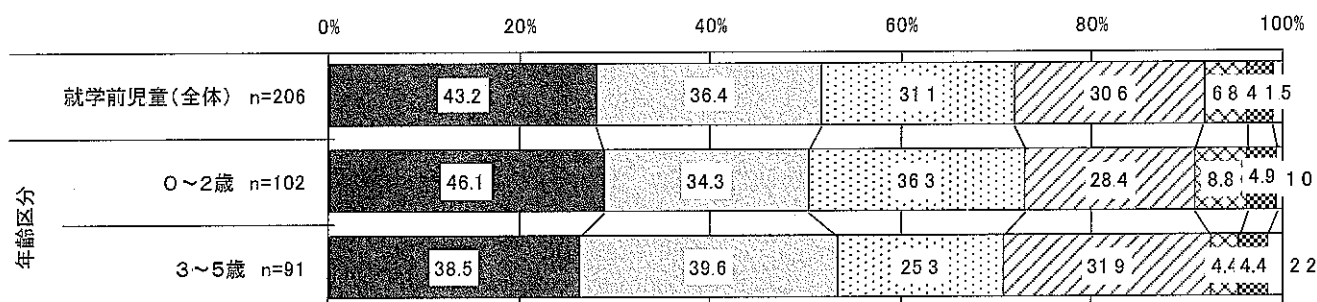
図表 1 2 子どもをみともらえる親族・知人の状況



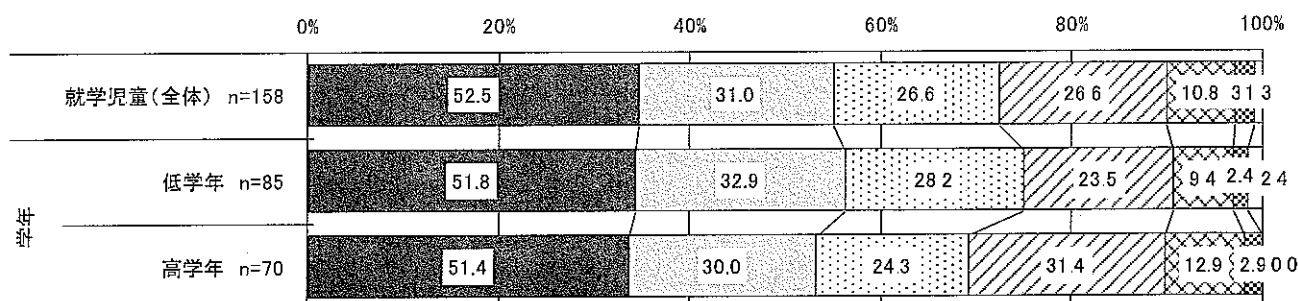
問 10-1 「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(共 10-1)

- ・祖父母等の負担感についてみると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、就学前児童が43.2%、就学児童が52.5%となっています。
- ・次いで、就学前児童では、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が36.4%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が31.1%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が30.6%となっています。
- ・次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が31.0%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がともに26.6%となっています。

図表 1 3 祖父母等の負担感



- 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
- ▣ 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- ▤ 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- ▥ 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- ▧ その他
- 無回答

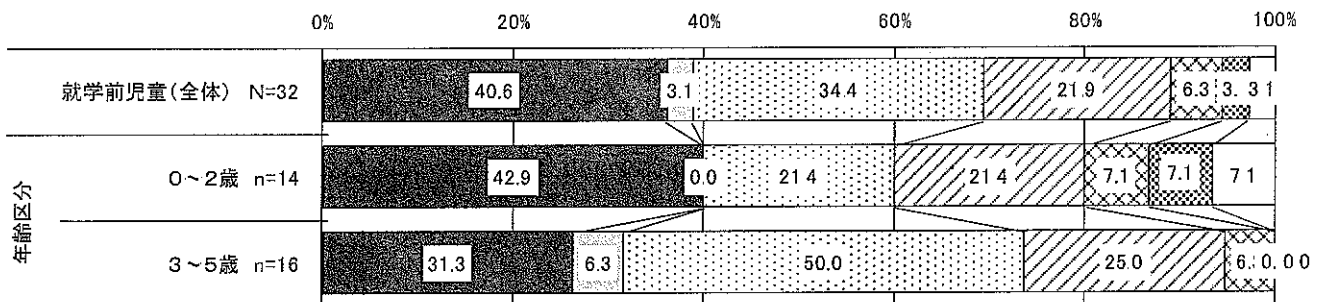


- 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
- ▣ 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- ▤ 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- ▥ 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- ▧ その他
- 無回答

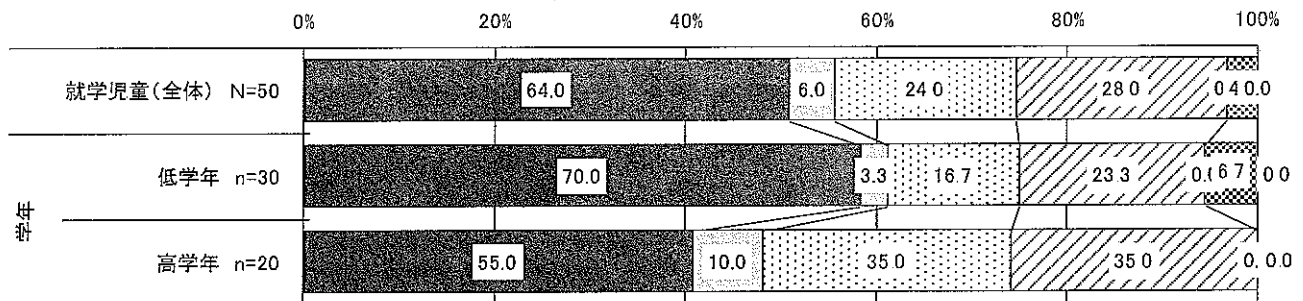
問 10-2 「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(共 10-2)

- ・友人・知人等の負担感についてみると「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、就学前児童が 40.6%、就学児童が 64.0% となっています。
- ・次いで、就学前児童は「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 34.4%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 21.9%、「子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が 6.3%となっています。
- ・次いで、就学児童は「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 28%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 24%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が 6%となっています。

図表 1 4 友人・知人の負担感



- 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
- ▨ 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- ▩ 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- ▧ 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- ⊠ その他
- 無回答



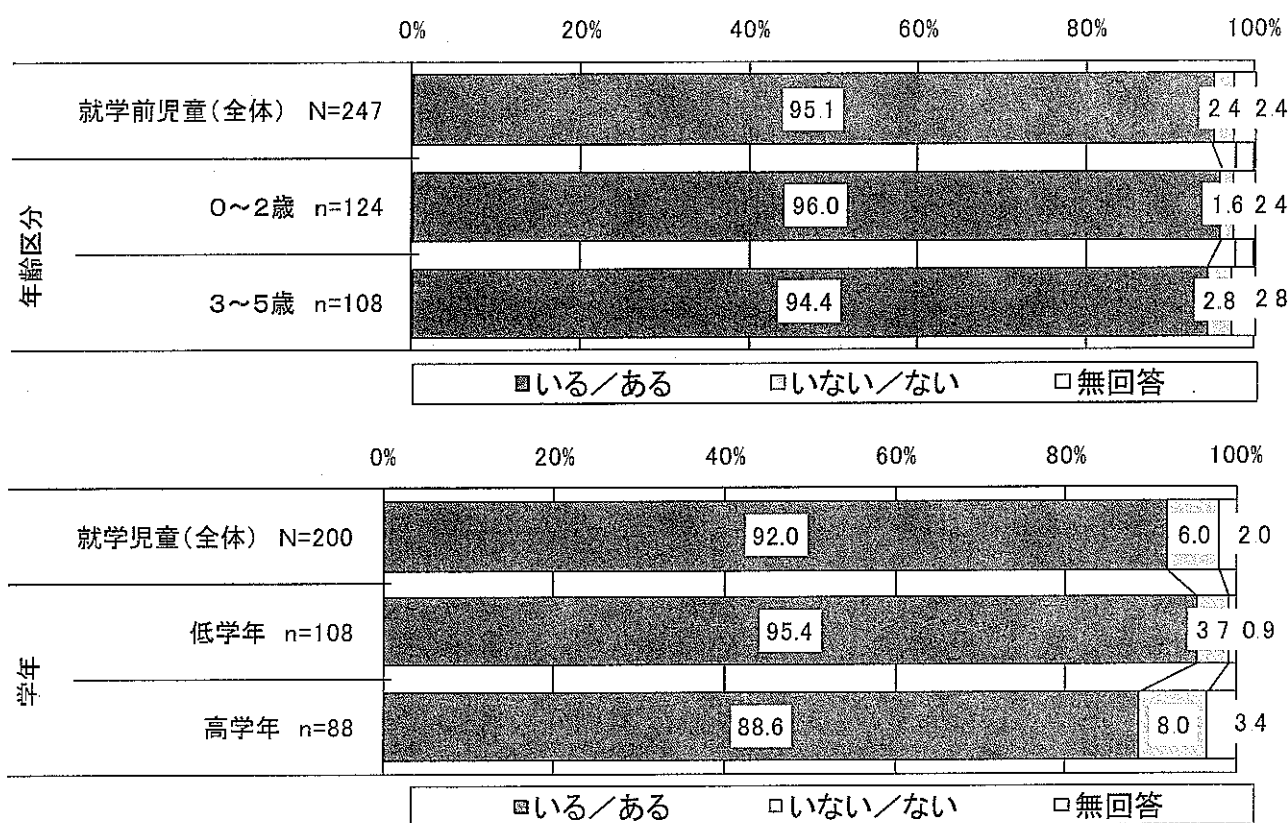
- 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
- ▨ 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- ▩ 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- ▧ 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- ⊠ その他
- 無回答

問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。（共 11）

問 11-1 「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（共 11-1）

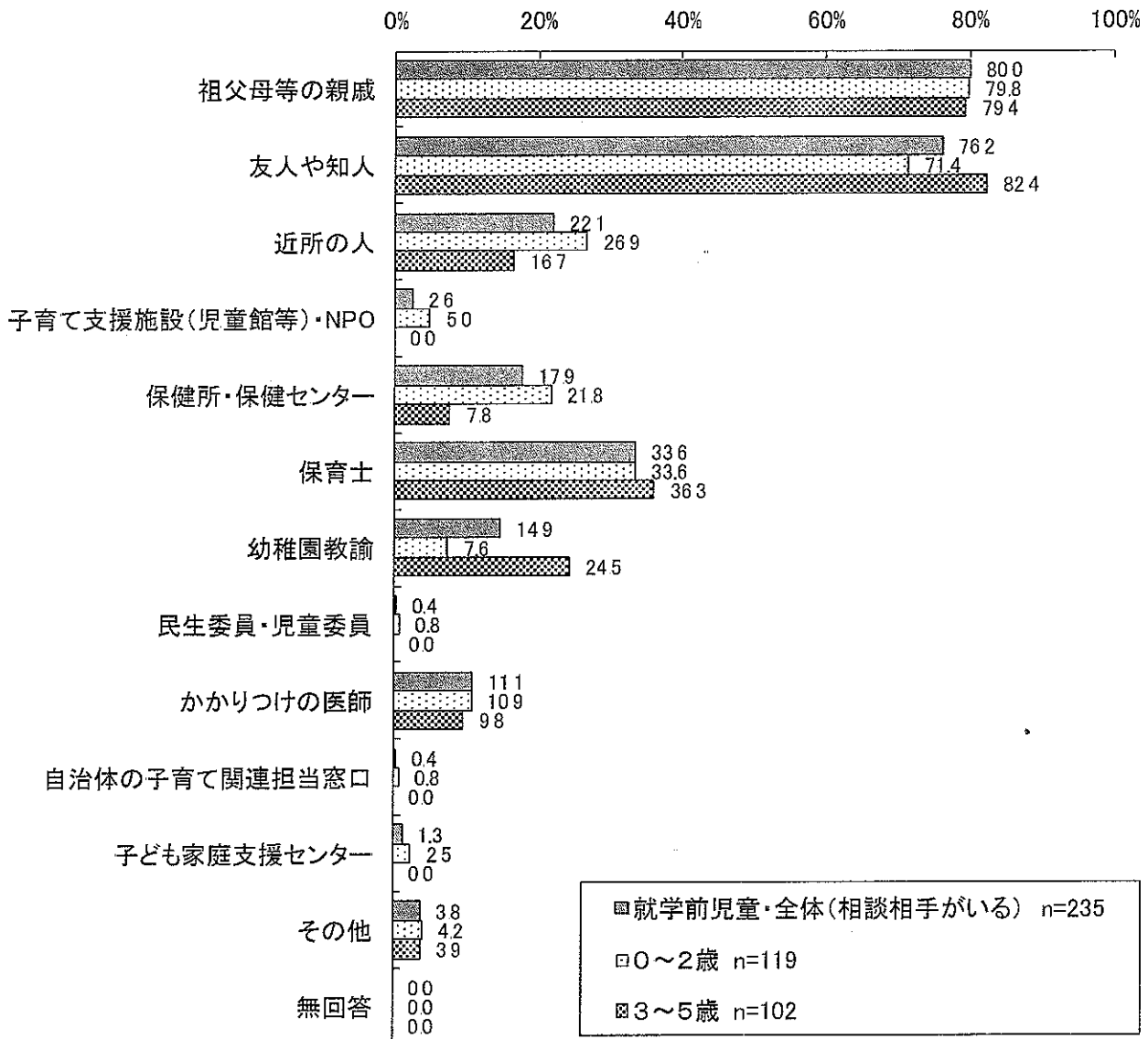
- ・子育てに関する相談先についてみると、「いる／ある」は、就学前児童が 95.1%、就学児童が 92.0% となっています。
- ・「いない／ない」は、就学前児童が 2.4%、就学児童が 6.0% となっています。

図表 1 5 気軽に相談できる人・場所の有無（回答）



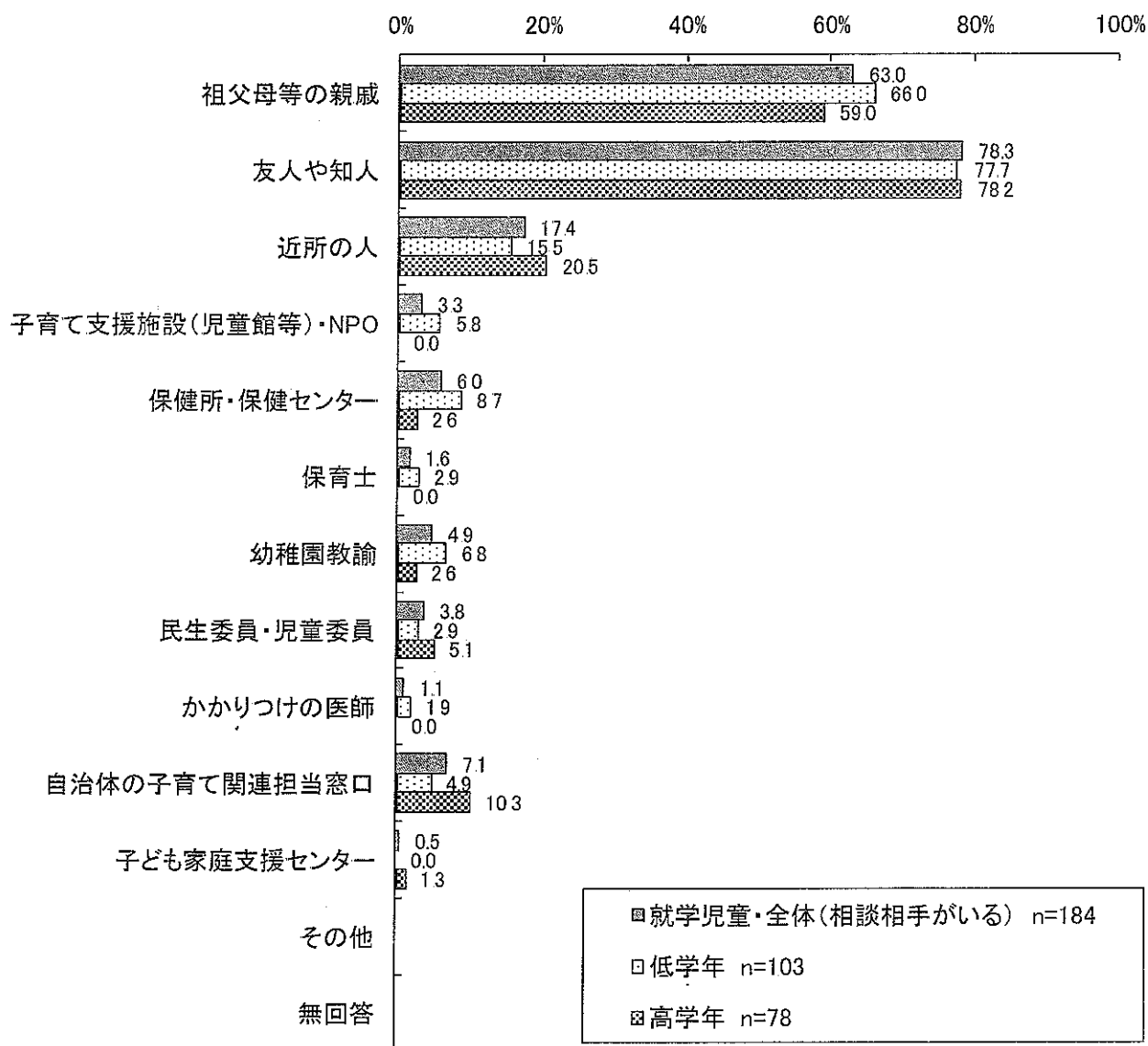
・「ある／いる」人について、相談先をみると、就学前児童では、「祖父母等の親戚」が最も多く、80% となっています。次いで「友人や知人」が76.2%、「保育士」が33.6%、「近所の人」が22.1%と なっています。

図表 1 6 相談相手・機関／就学前児童（複数回答）



・就学児童の相談先についてみると、「友人や知人」が最も多く、78.3%となっています。次いで「祖父母の親族」が63%、「近所の人」が17.4%となっています。

図表17 相談相手・機関／就学児童（複数回答）

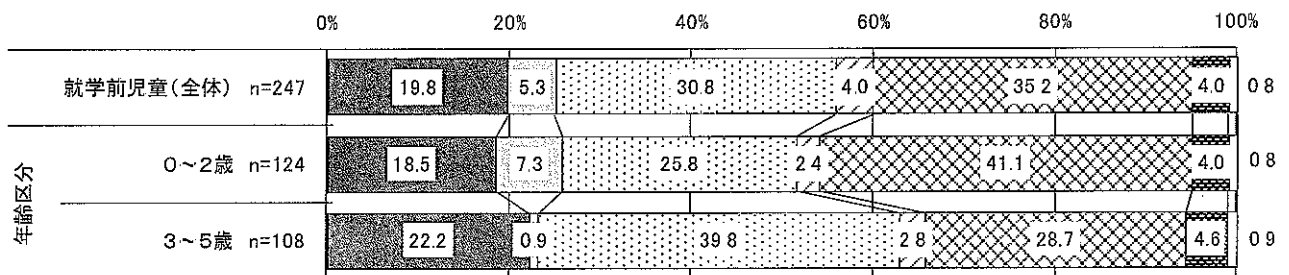


3. 保護者の就労状況について

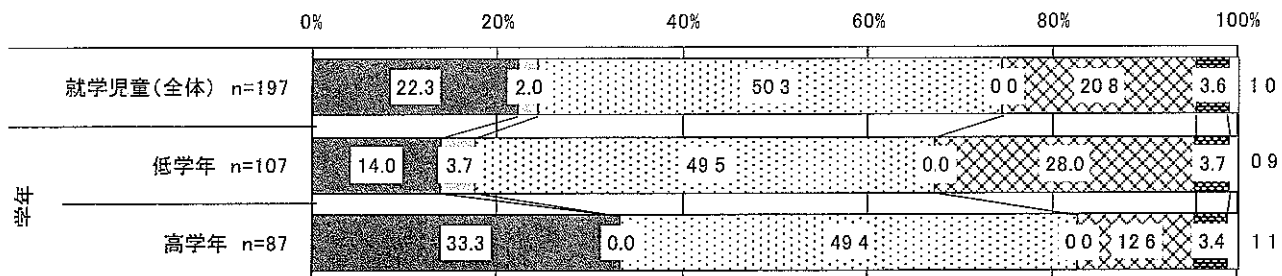
問 13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（1）当てはまる番号1つに○をつけてください。（共 13）

- ・母親の就労状況についてみると、就学前児童は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も多く、35.2%となっています。次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が30.8%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が19.8%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が4.0%となっています。
- ・就学児童では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く、50.3%となっています。次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が22.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.8%、「これまで就労したことがない」が3.6%となっています。

図表 18 母親の就労状況（単数回答）



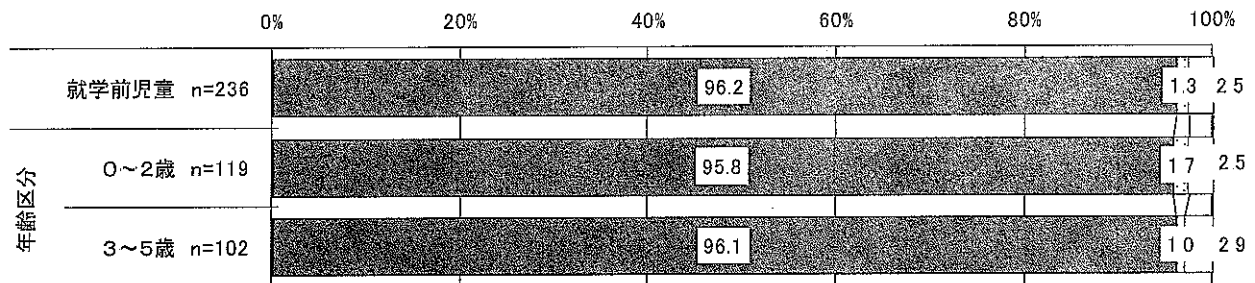
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 以前は就労していたが、現在は就労していない
 これまで就労したことがない
 無回答



フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 以前は就労していたが、現在は就労していない
 これまで就労したことがない
 無回答

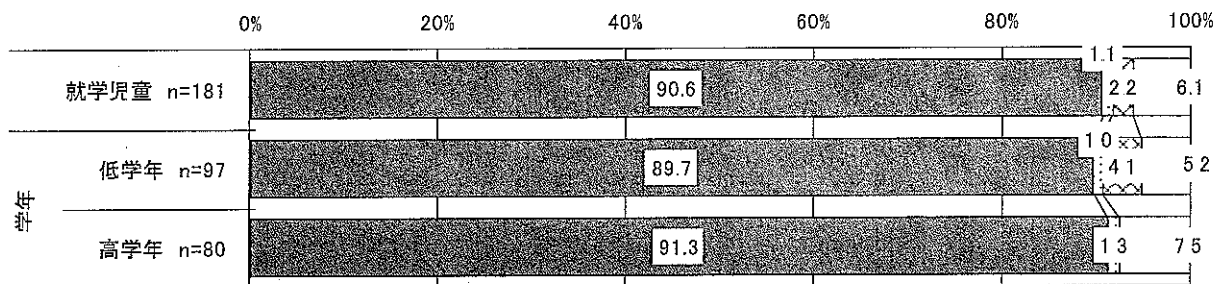
- ・父親の就労状況についてみると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く、就学前児童が96.2%、就学児童が90.6%となっています。
- ・「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は、就学前児童が1.3%、就学児童が1.1%となっています。
- ・「以前は就労していたが、現在は就労していない」が、就学児童が2.2%、就学前児童ではおりませんでした。
- ・「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は、就学前児童、就学児童ともおりませんでした。

図表19 父親の就労状況（単数回答）



フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 以前は就労していたが、現在は就労していない
 これまで就労したことがない
 無回答

※「0.0%」は非表示



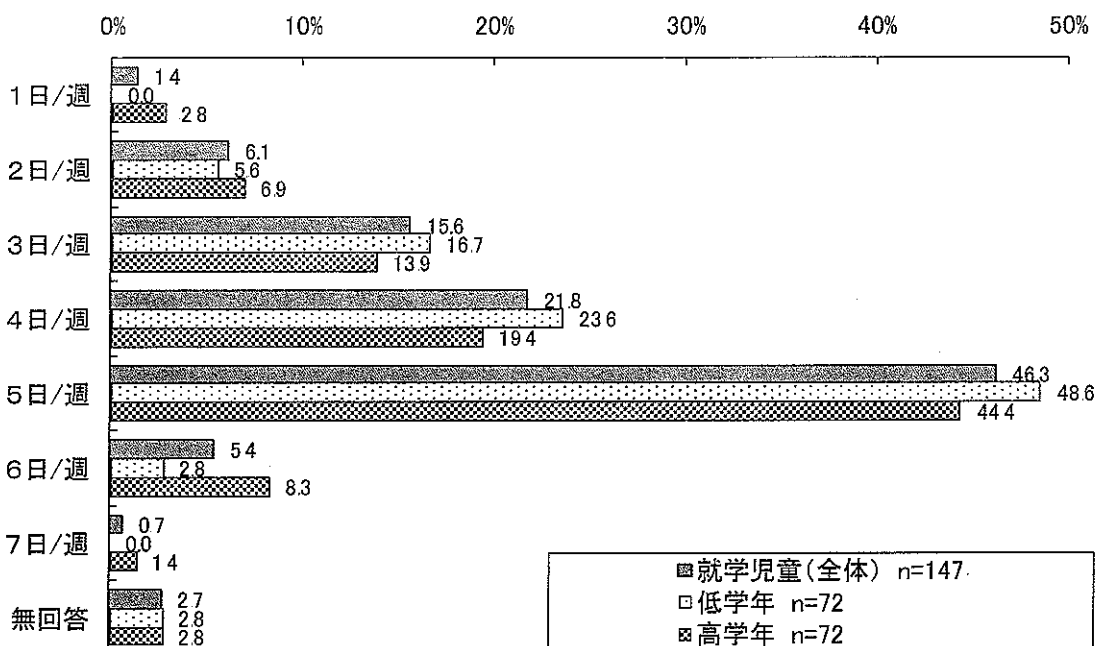
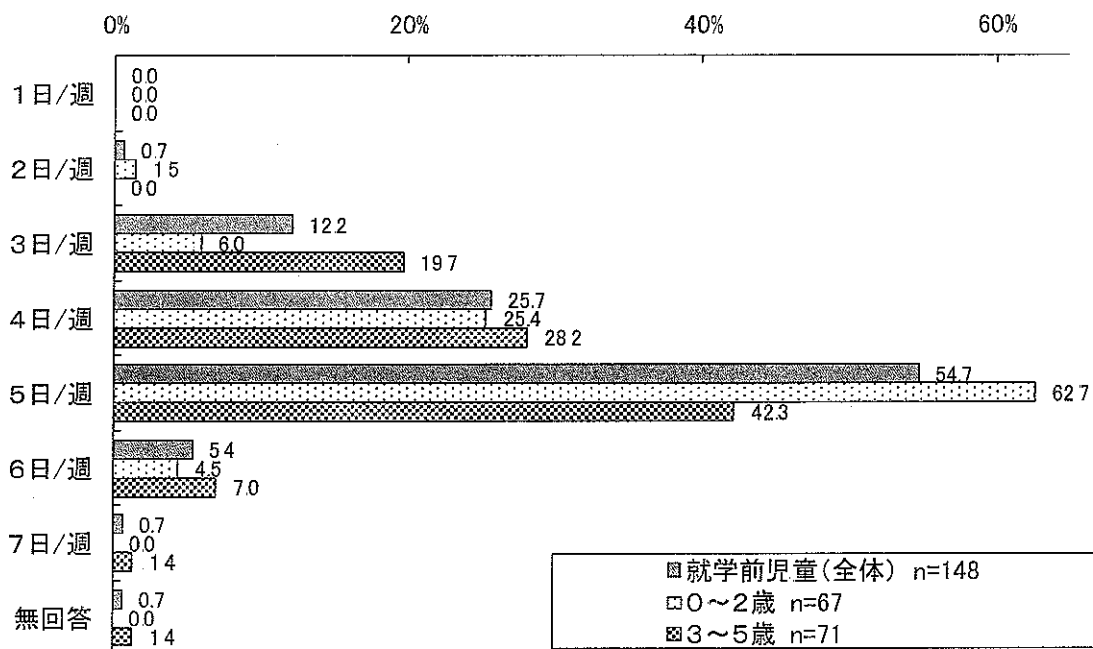
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 以前は就労していたが、現在は就労していない
 これまで就労したことがない
 無回答

※「0.0%」は非表示

問 13 (1) -1 (1) で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(〔 〕内に数字でご記入ください。)(共 13-(1)-1)

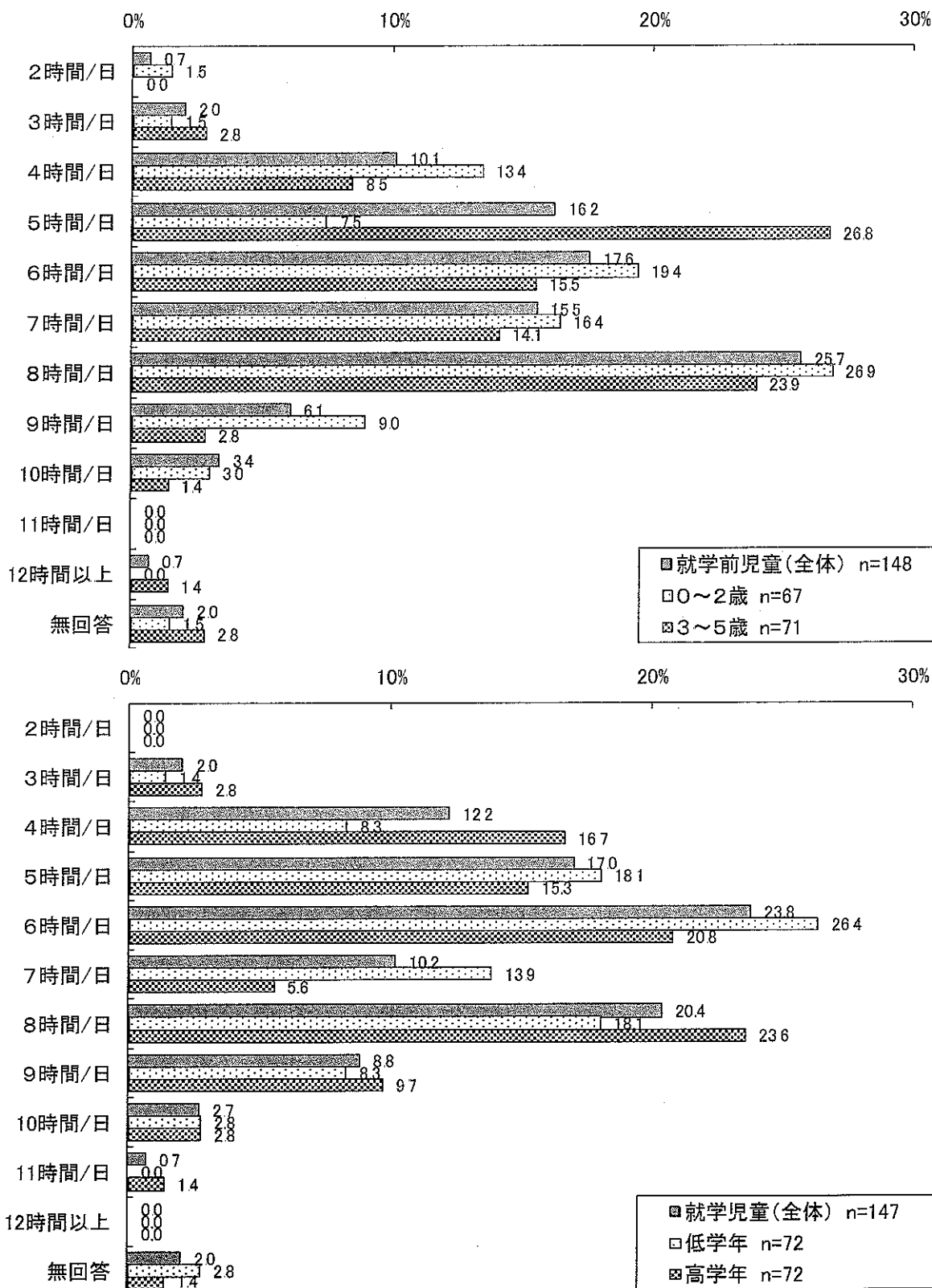
- ・母親の就労日数についてみると、「5日/週」が最も多く、就学前児童が54.7%、就学児童が59.6%となっています。
- ・次いで「4日/週」が多く、就学前児童が、25.7%、就学児童が21.8%となっています。

図表 20 母親・1週間当たり就労日数(単数回答)



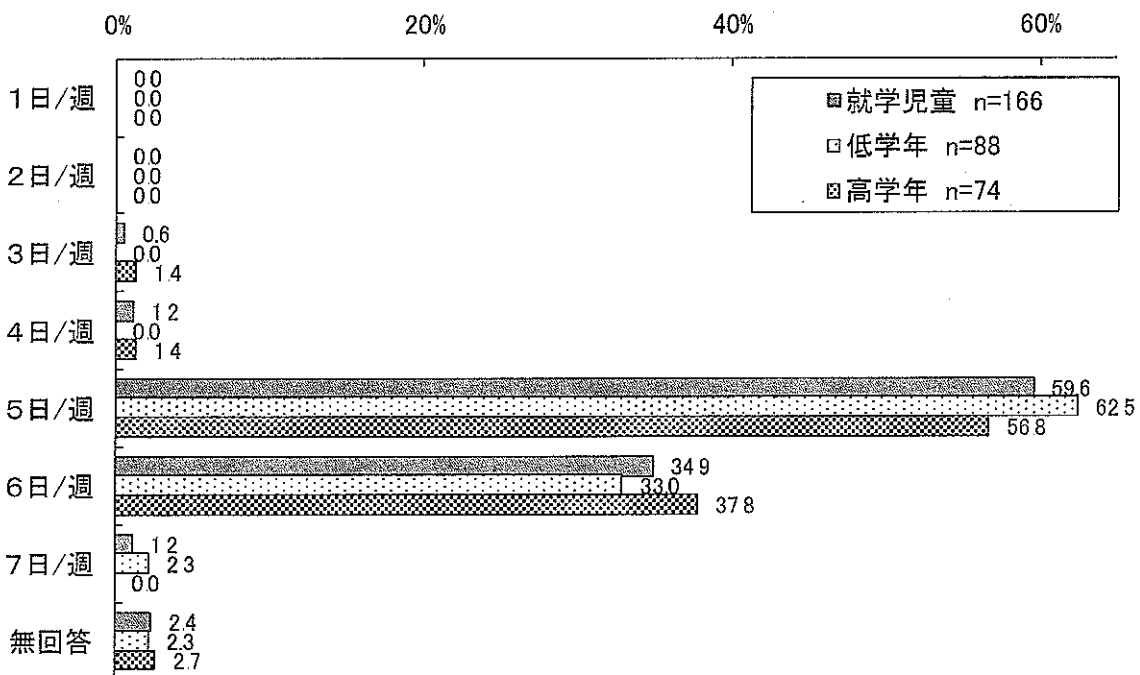
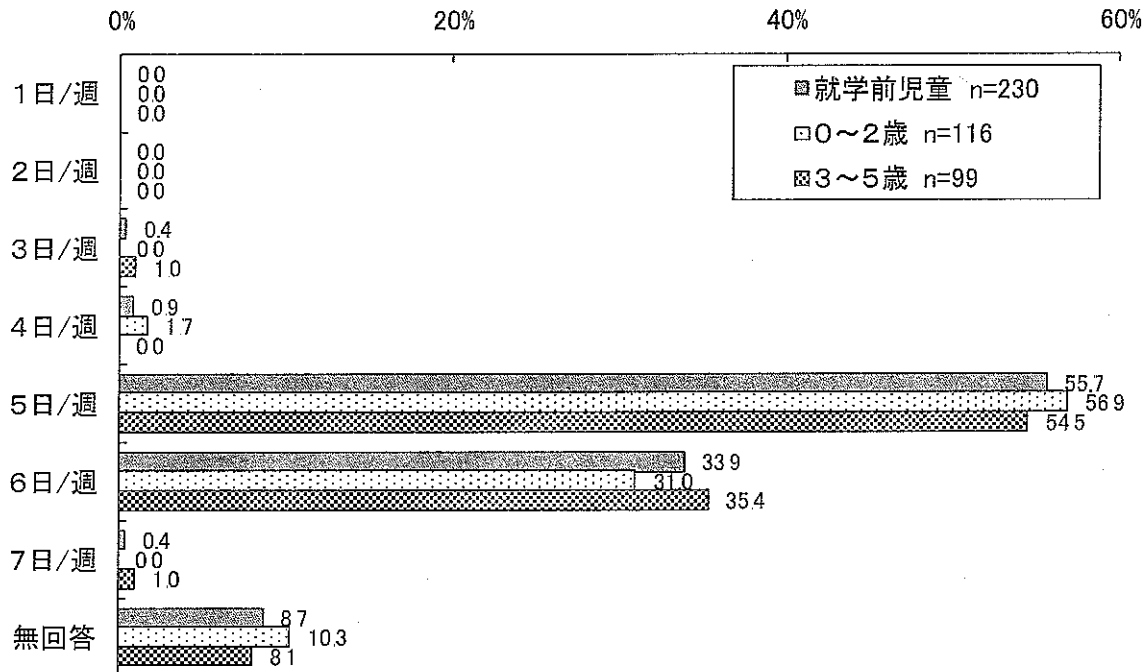
- 母親の1日当たりの就労時間をみると、就学前児童では、「8時間/日」が最も多く、25.7%となっています。次いで「6時間/日」が17.6%、「5時間/日」が16.2%、「7時間/日」が15.5%となっています。
- 就学児童では、「6時間」が最も多く、23.8%となっています。次いで「8時間」が20.4%、「5時間」が17%、「4時間」が12.2%となっています。

図表 2-1 母親・1日当たり就労時間（単数回答）



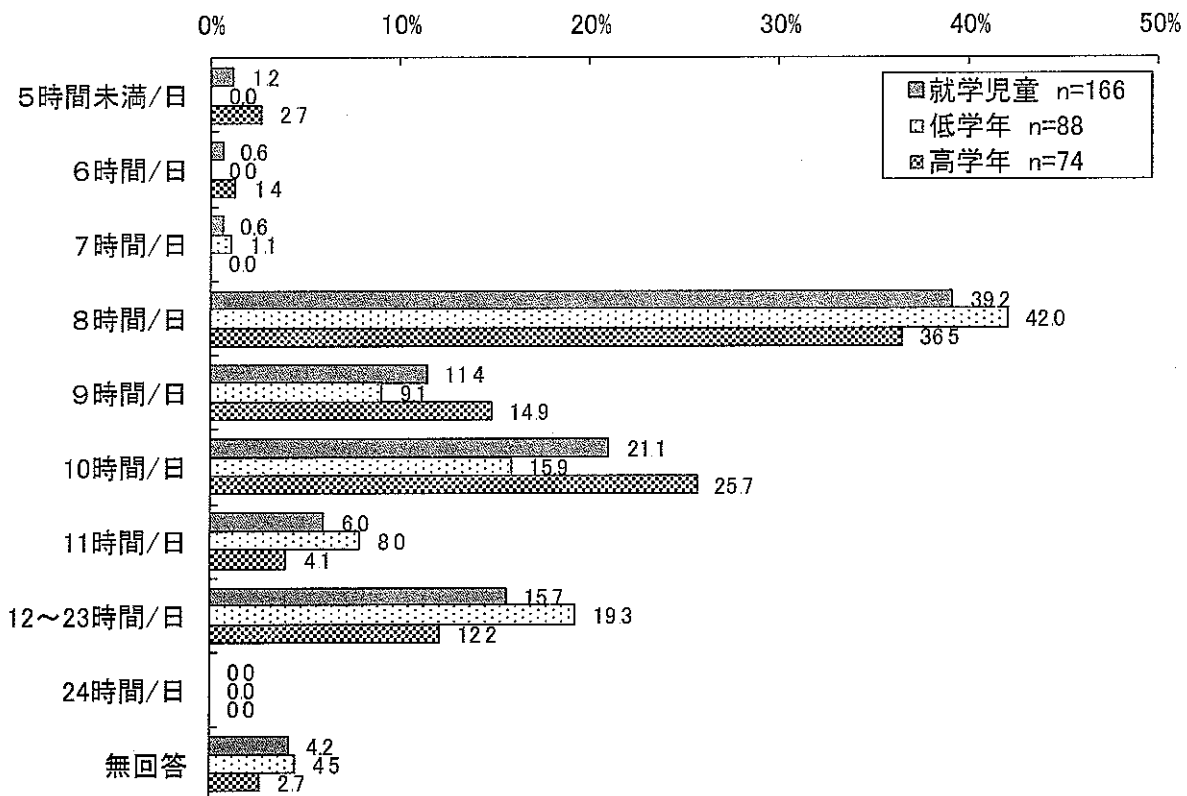
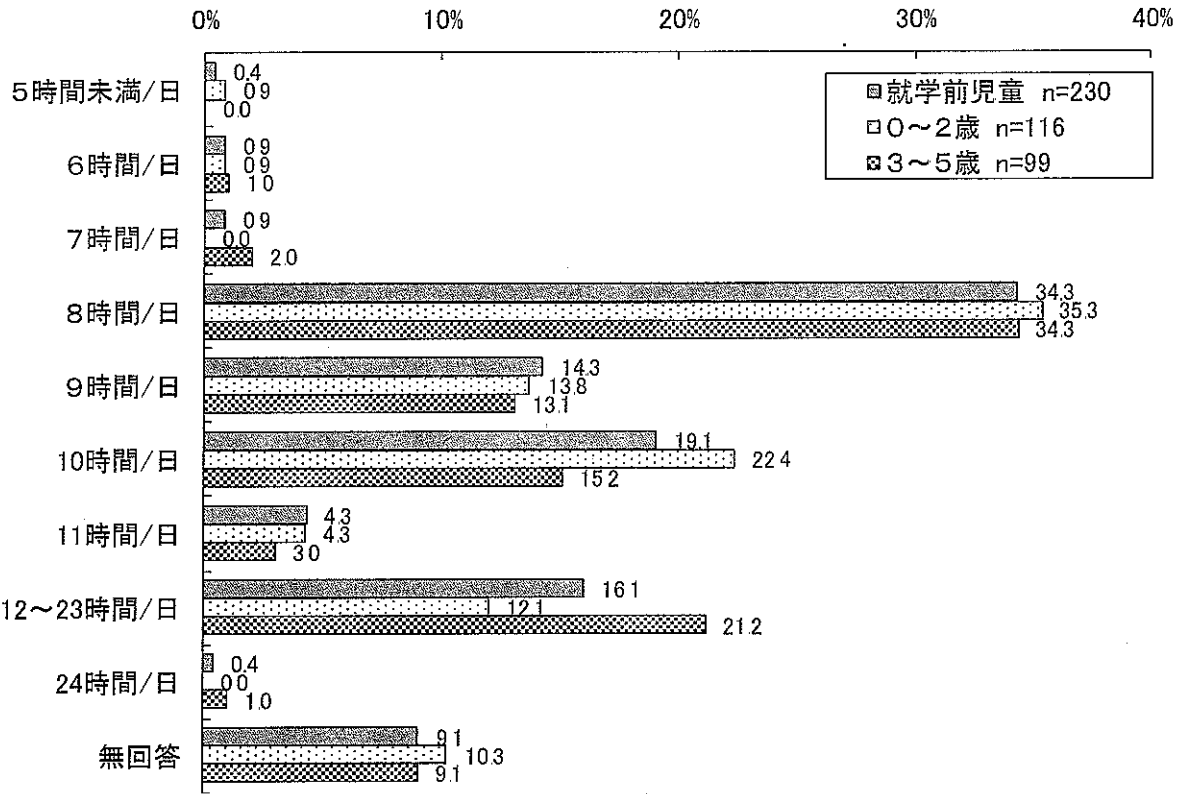
- ・父親の就労日数についてみると、「5日/週」が最も多く、就学前児童が55.7%、就学児童が59.6%となっています。
- ・次いで「6日/週」が多く、就学前児童が33.9%、就学児童が34.9%となっています。

図表 2 2 父親・1週間当たり就労日数（単数回答）



- 父親の就労時間についてみると、「8時間/日」が最も多く、就学前児童は34.3%、就学児童が39.2%となっています。
- 次いで「10時間/日」が多く、就学前児童は19.1%、就学児童は21.1%、「9時間/日」が、就学前児童が14.3%、就学児童が11.4%となっています。

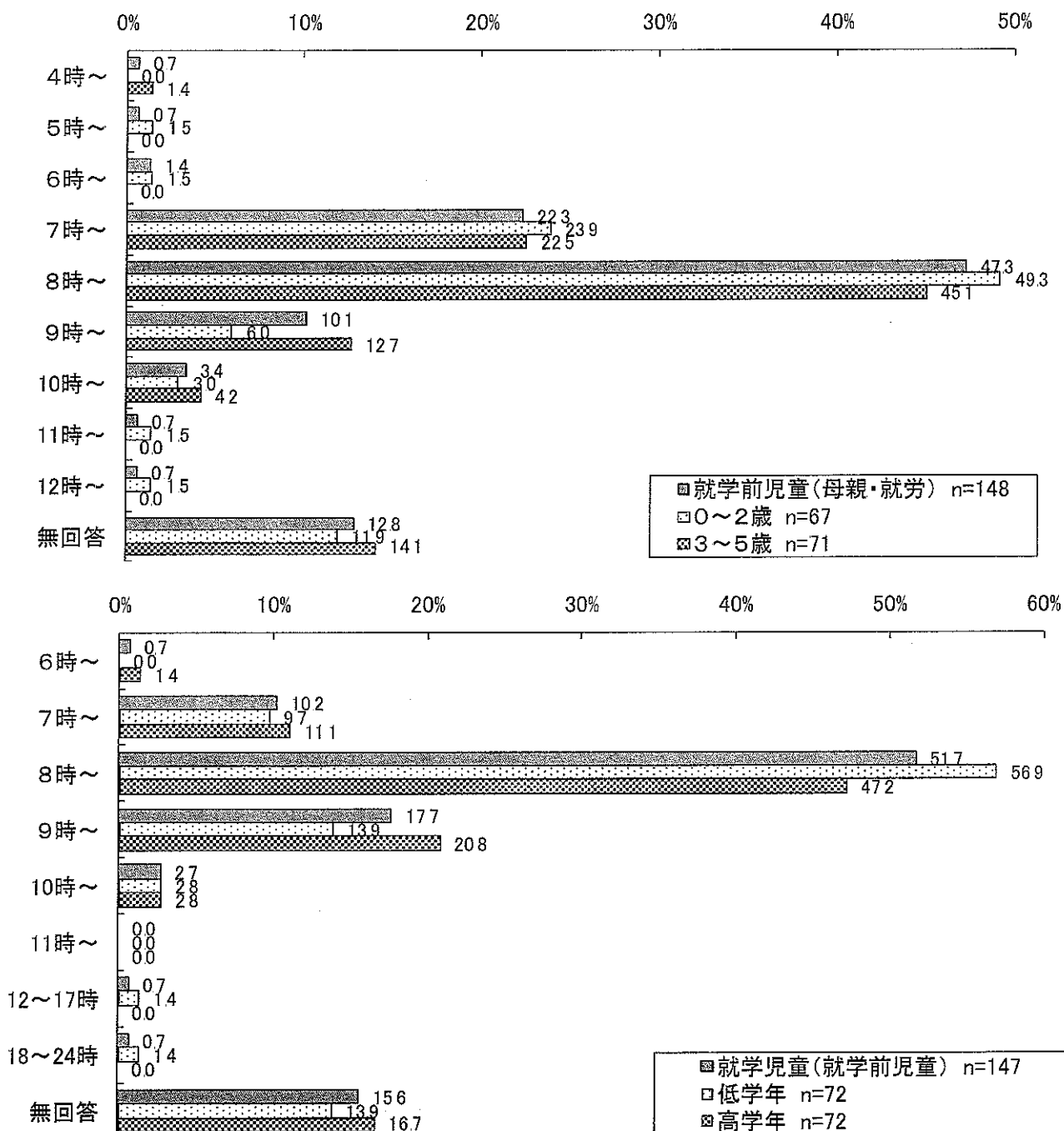
図表 2 3 父親・1日当たり就労時間



問 13 (1)-2 (1) で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は不定期に○をつけ、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(〔 〕内に数字でご記入ください。)(共 13-(1)-2)

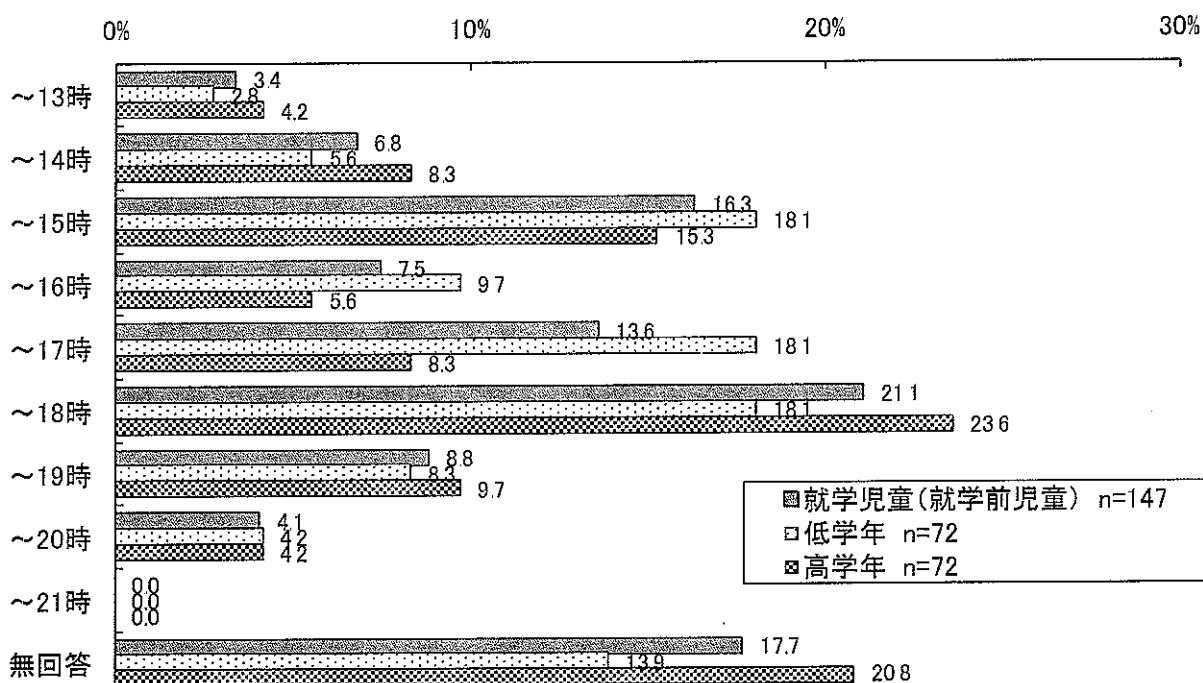
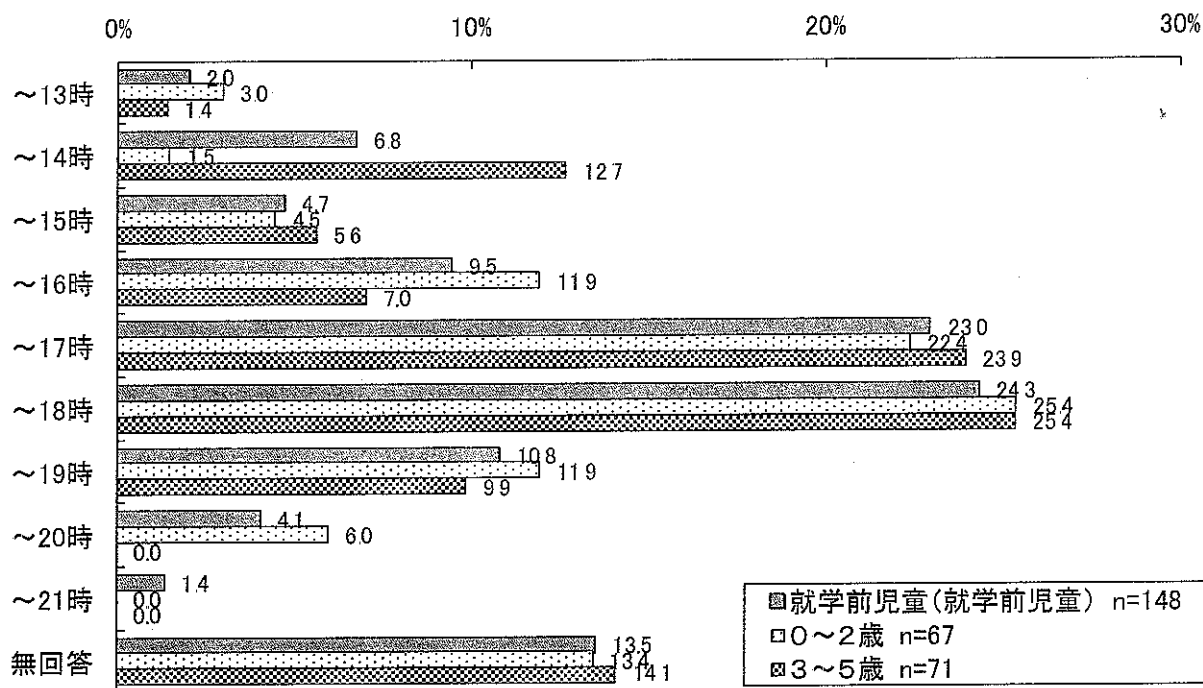
- ・母親が家を出る時間と帰宅時間等についてみると、家を出る時間は、就学前児童、就学児童ともに8時台が多くなっています。
- ・時間が一定でない(不定期)の割合は、就学前児童が18.2%、就学児童が21.1%となっています。

図表 2 4 母親・家を出る時間(数量回答)

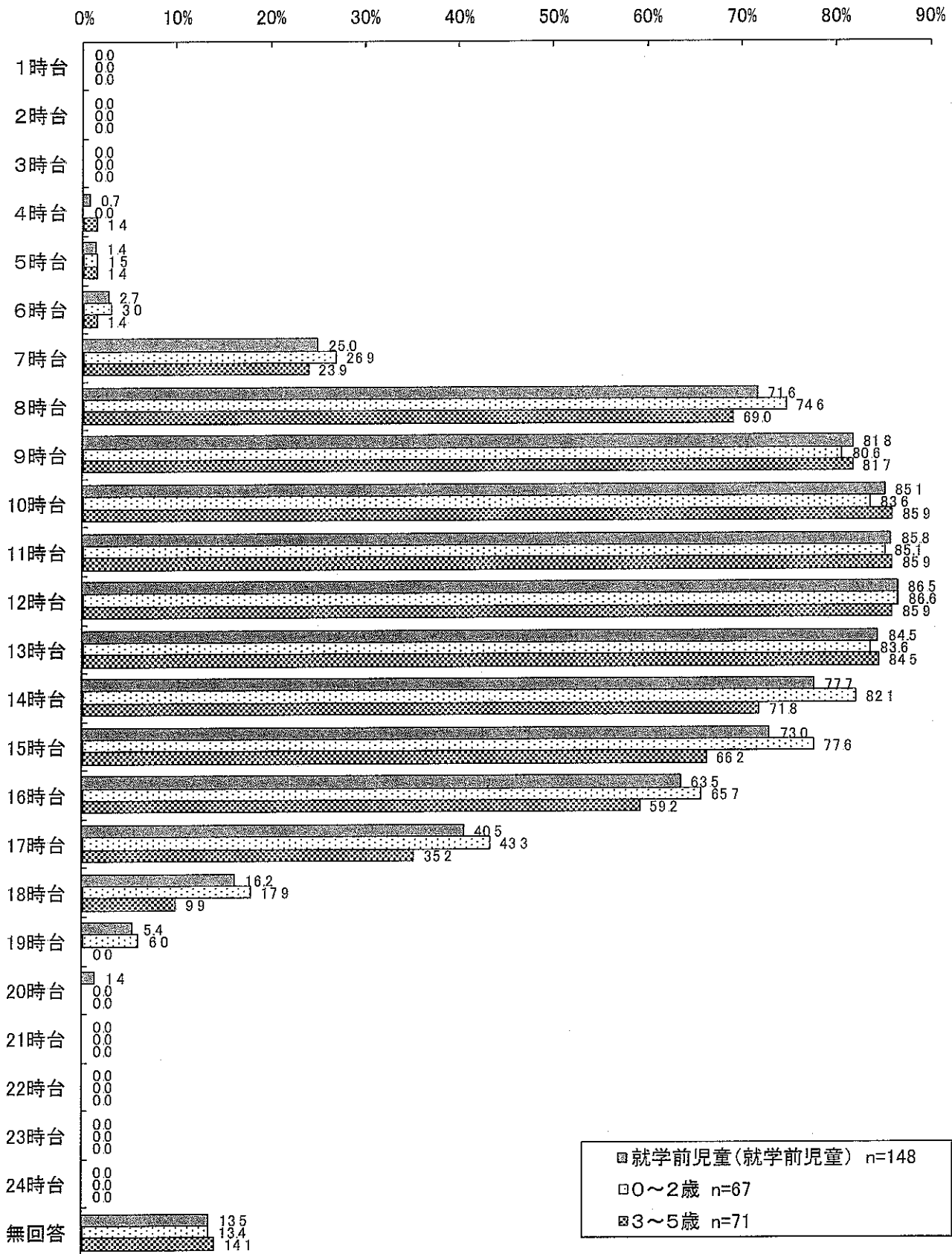


- ・帰宅時間を見ると、就学前児童は、「～17時」(230%)、「～18時」(243%)の割合が高くなっています。
- ・就学児童は、「～18時」が最も多く、21.1%となっています。次いで「～15時」が16.3%、「～17時」が13.6%、「～19時」が8.8%となっています。

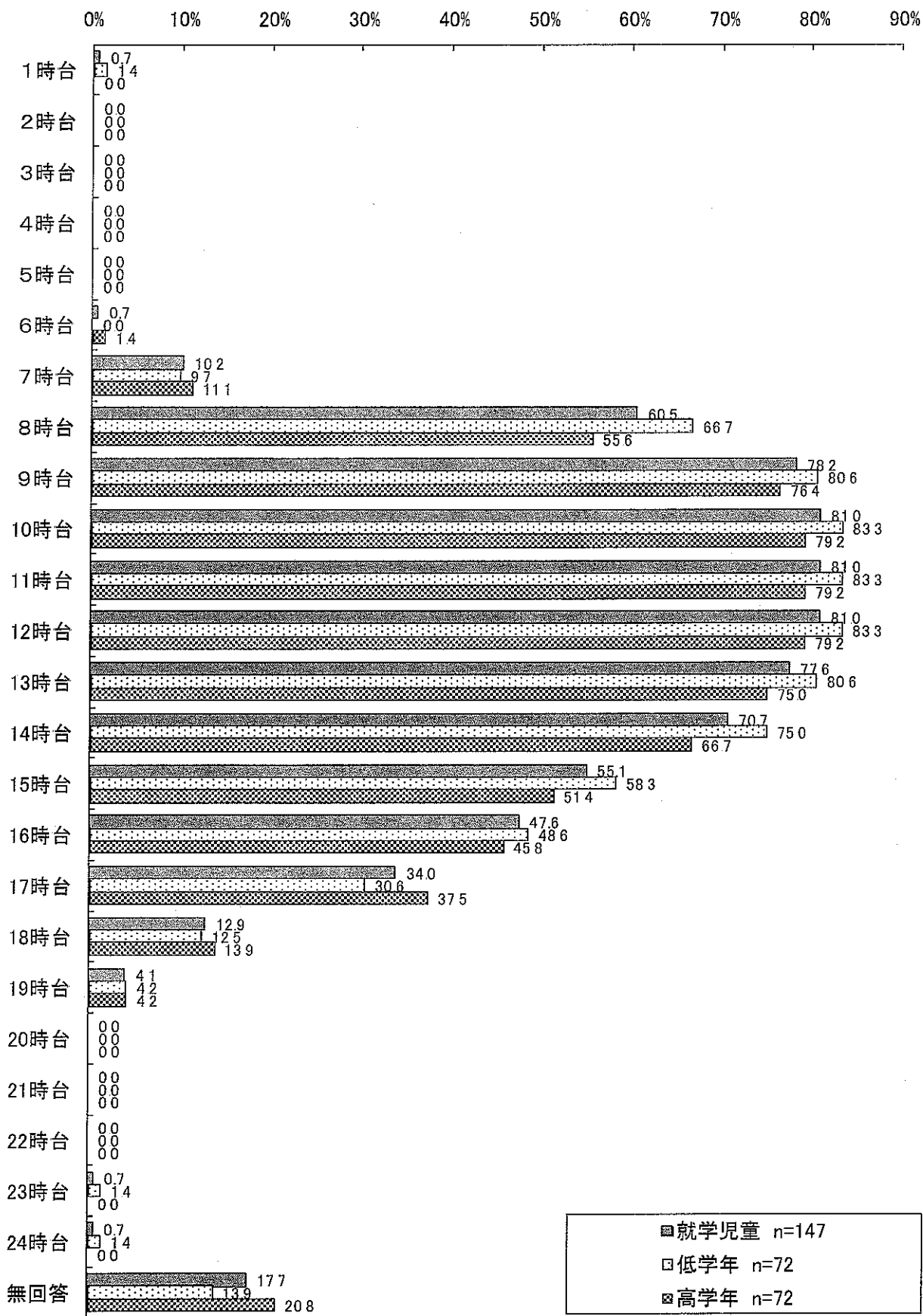
図表25 母親・帰宅時間(数量回答)



図表26 母親・家を出てからから帰宅まで（不在にしている）時間帯／就学前児童

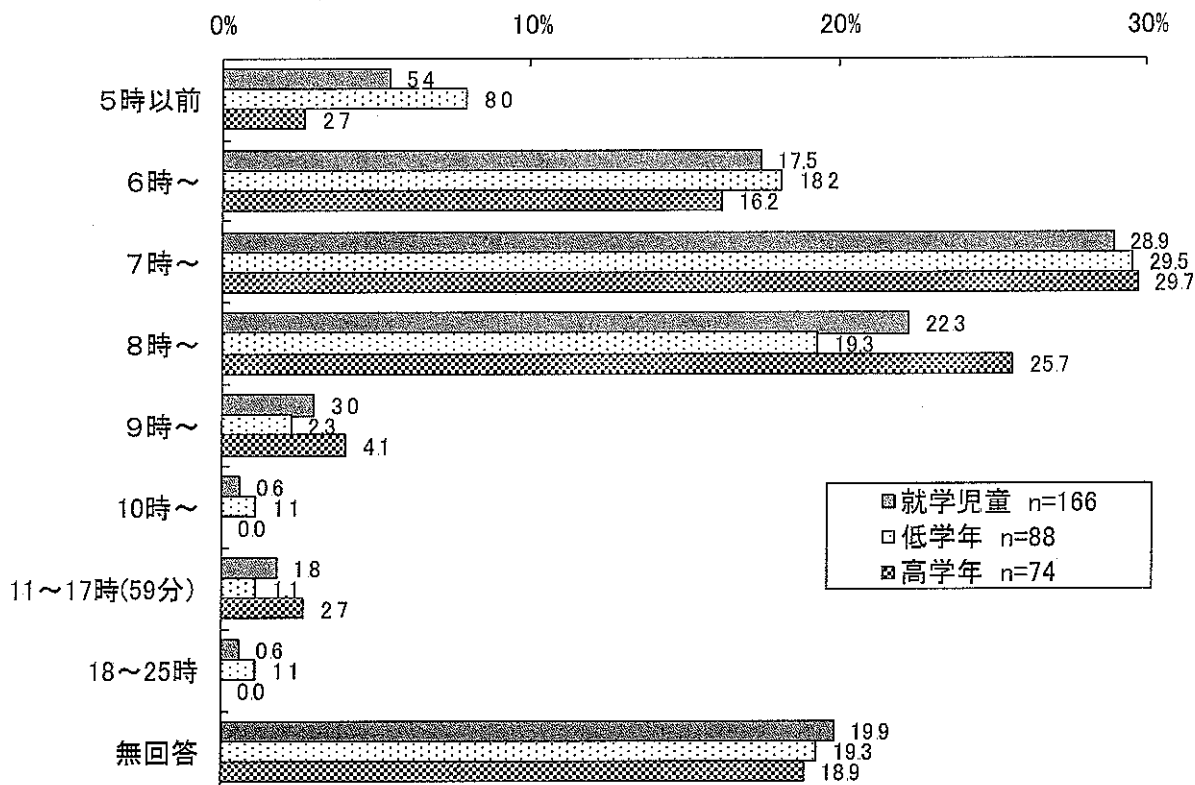
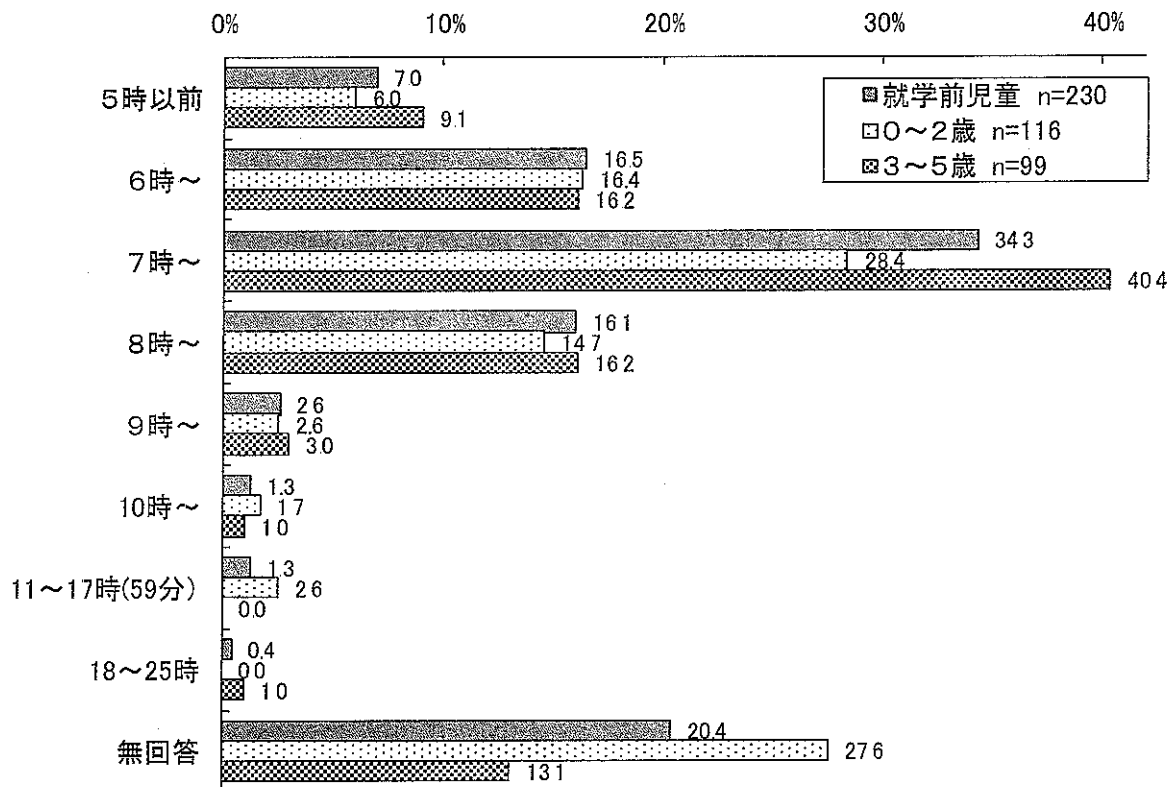


図表27 母親・家を出てからから帰宅まで（不在にしている）時間帯／就学児童



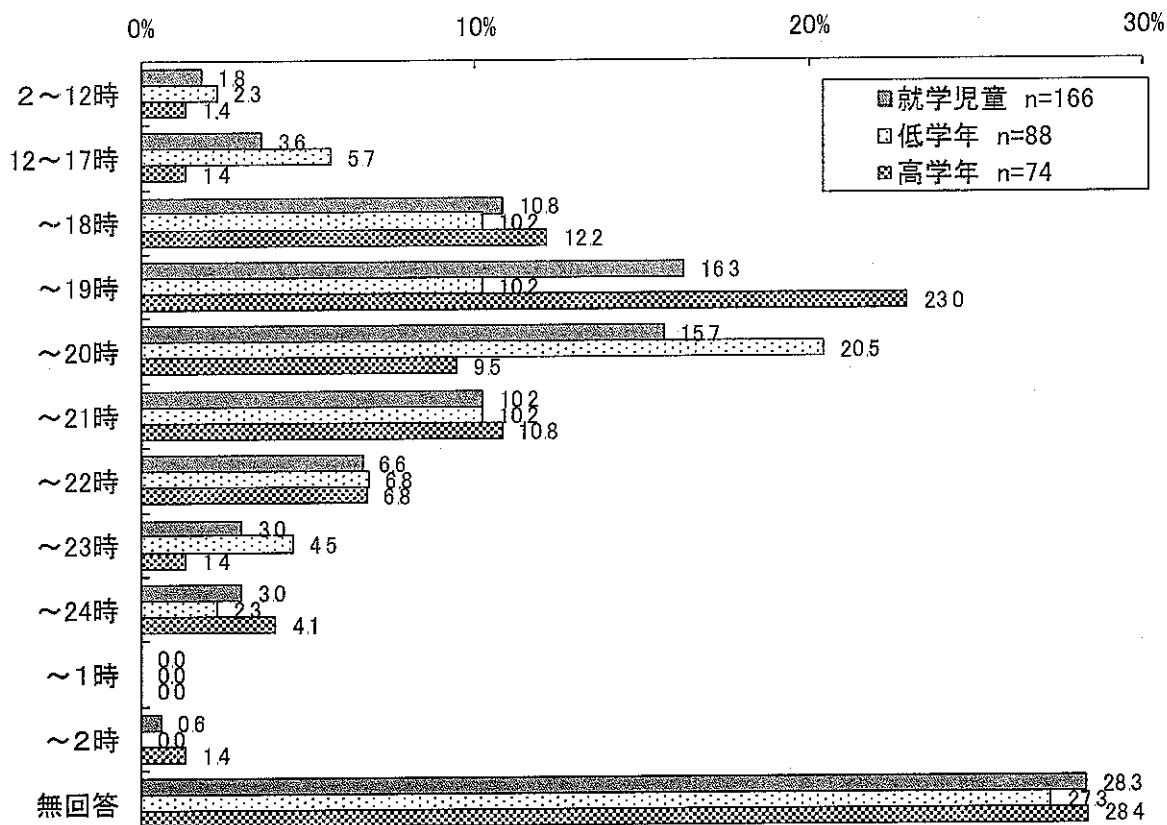
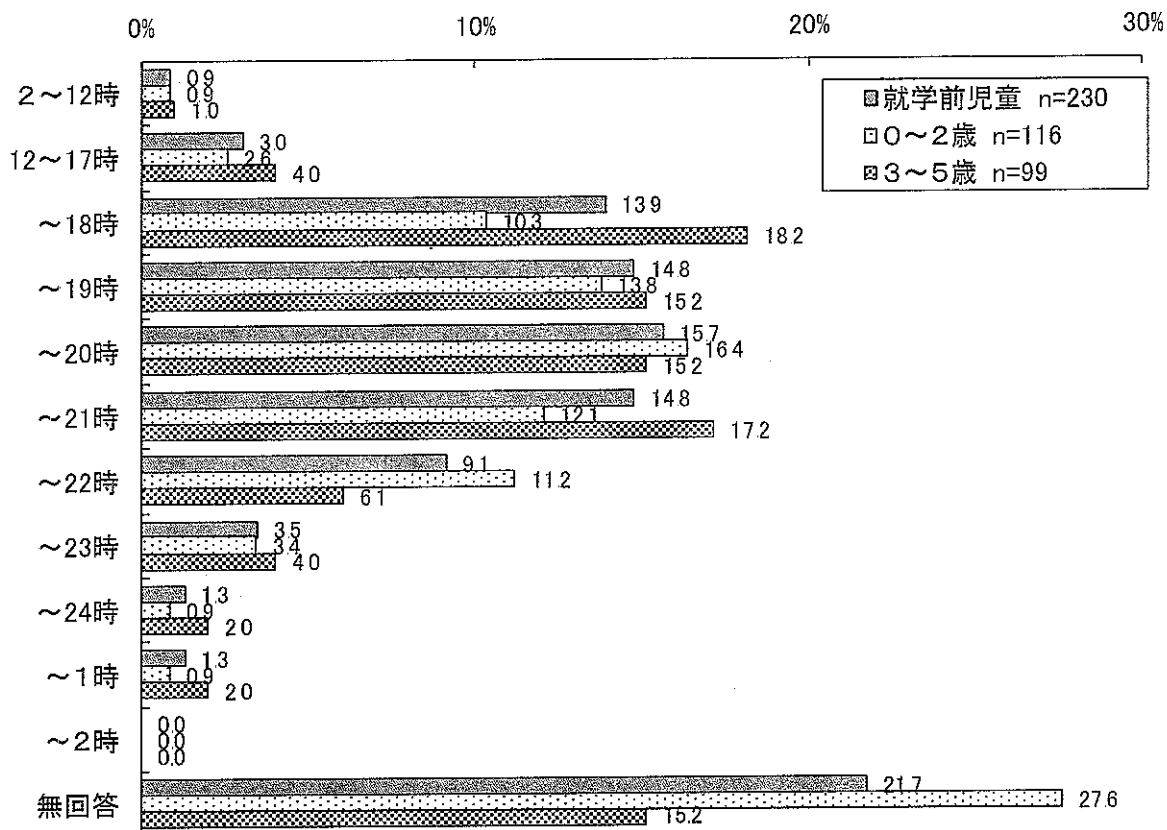
- ・母親が家を出る時間と帰宅時間等についてみると、家を出る時間は、就学前児童、就学児童ともに7時台が多くなっています。
- ・時間が一定でない（不定期）の割合は、就学前児童が27.0%、就学児童が38.6%となっています。

図表28 父親・家を出る時間

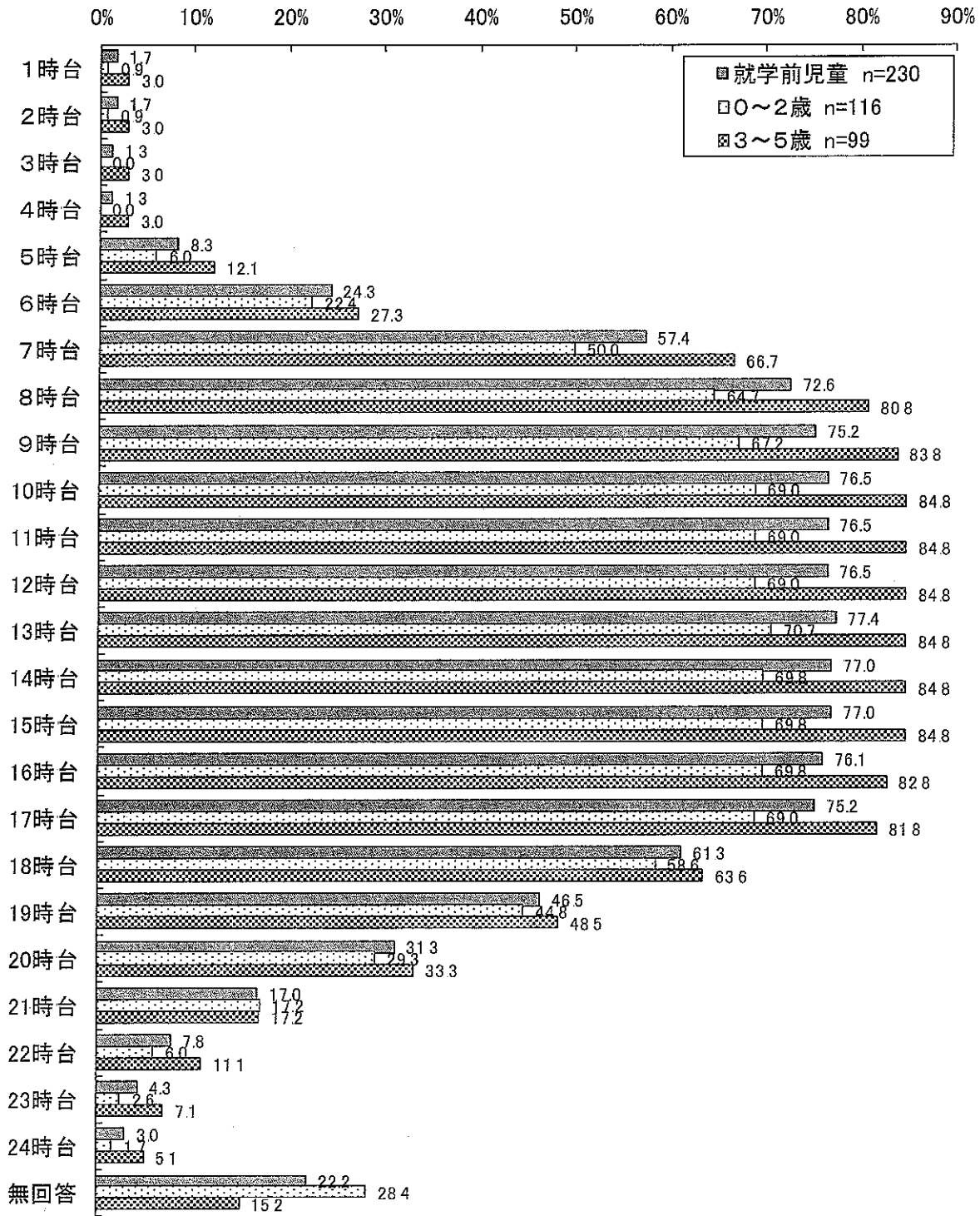


- ・父親の帰宅時間についてみると、就学前児童は、「～20 時」が最も多く、15.7%となっています。次いで「～19時」が14.8%、「～21時」が14.8%、「～18時」が13.9%となっています。
- ・就学児童は、「～19時」が最も多く、16.3%となっています。次いで「～20時」が15.7%、「～18時」が10.8%、「～21時」が10.2%となっています。

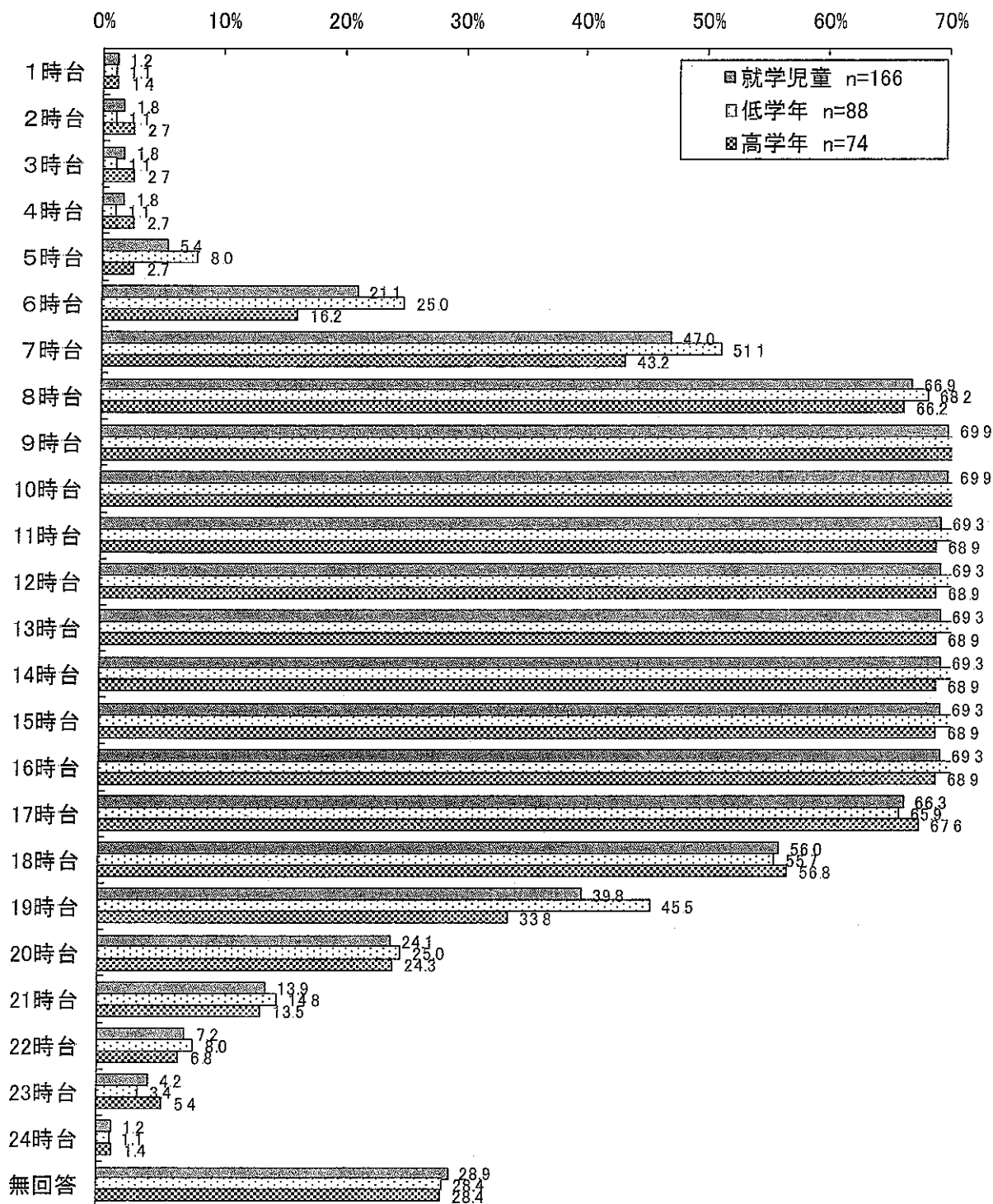
図表29 父親・帰宅時間



図表30 父親・家を出てからから帰宅まで（不在にしている）時間帯／就学前児童



図表3-1 父親・家を出てからから帰宅まで（不在にしている）時間帯／就学児童



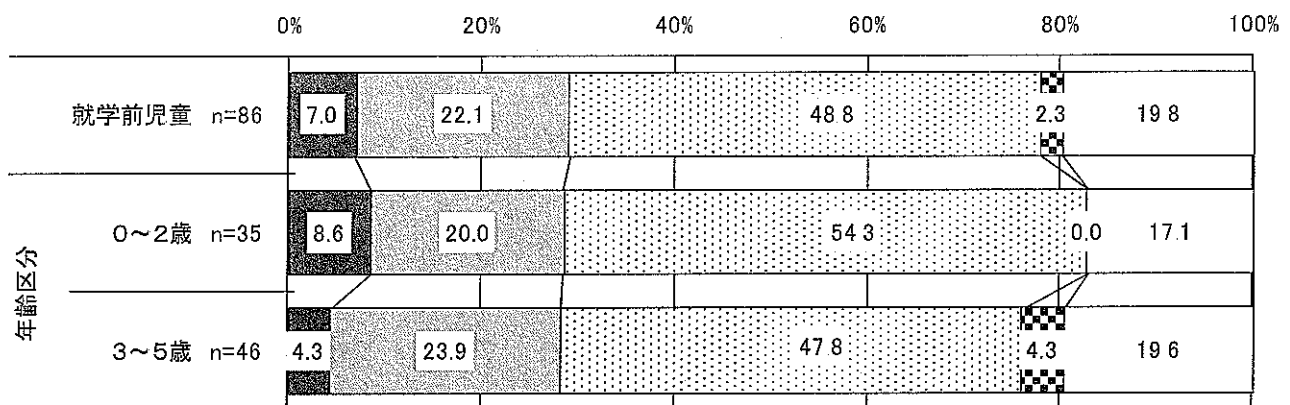
問 14 問 13 (1) または (2) で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。(共 14)

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

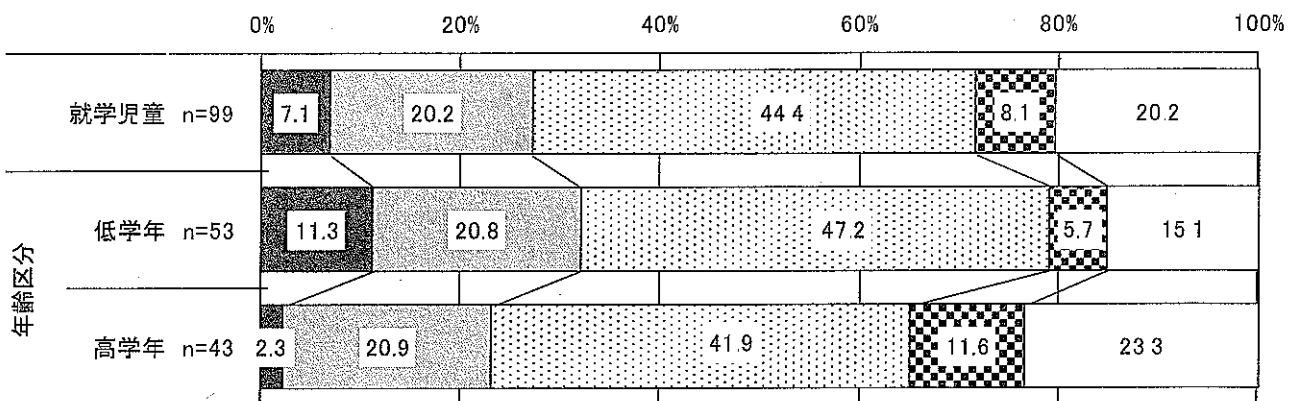
- ・母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が最も多く、就学前児童が 48.8%、就学児童が 44.4%となっています。
- ・次いで、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が多く、就学前児童は 22.1%、就学児童は 20.1%となっています。

※父親で、現在パートアルバイトで就労しているのは、就学前児童が3人、就学児童が1人のため、集計結果を表示していません。

図表 3 2 母親(パート・アルバイト等で就労)・フルタイムへの転換希望



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- ▣パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



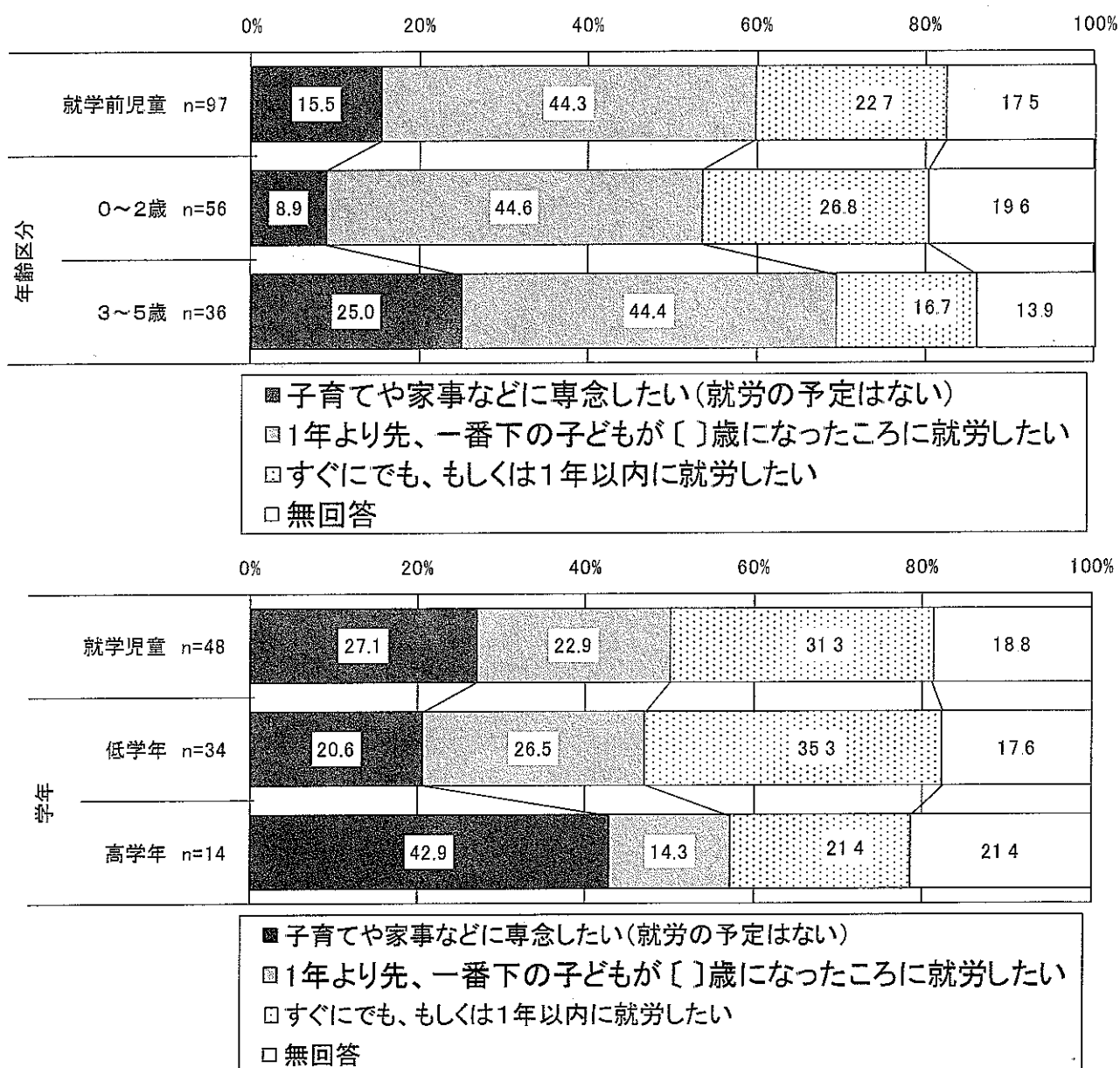
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- ▣パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

問 15 問 13 (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 16 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する〔 〕内に数字をご記入ください。(共 15)

- ・現在就労していない母親の就労意向についてみると、就学前児童は、「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が最も多く、44.3%となっています。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が22.7%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が15.5%となっています。
- ・就学児童では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く、31.3%となっています。次いで「子育てや家事などに専念したい」が27.1%、「1年より先、一番下の子どもが一定年齢になったところに就労したい」が22.9%となっています。

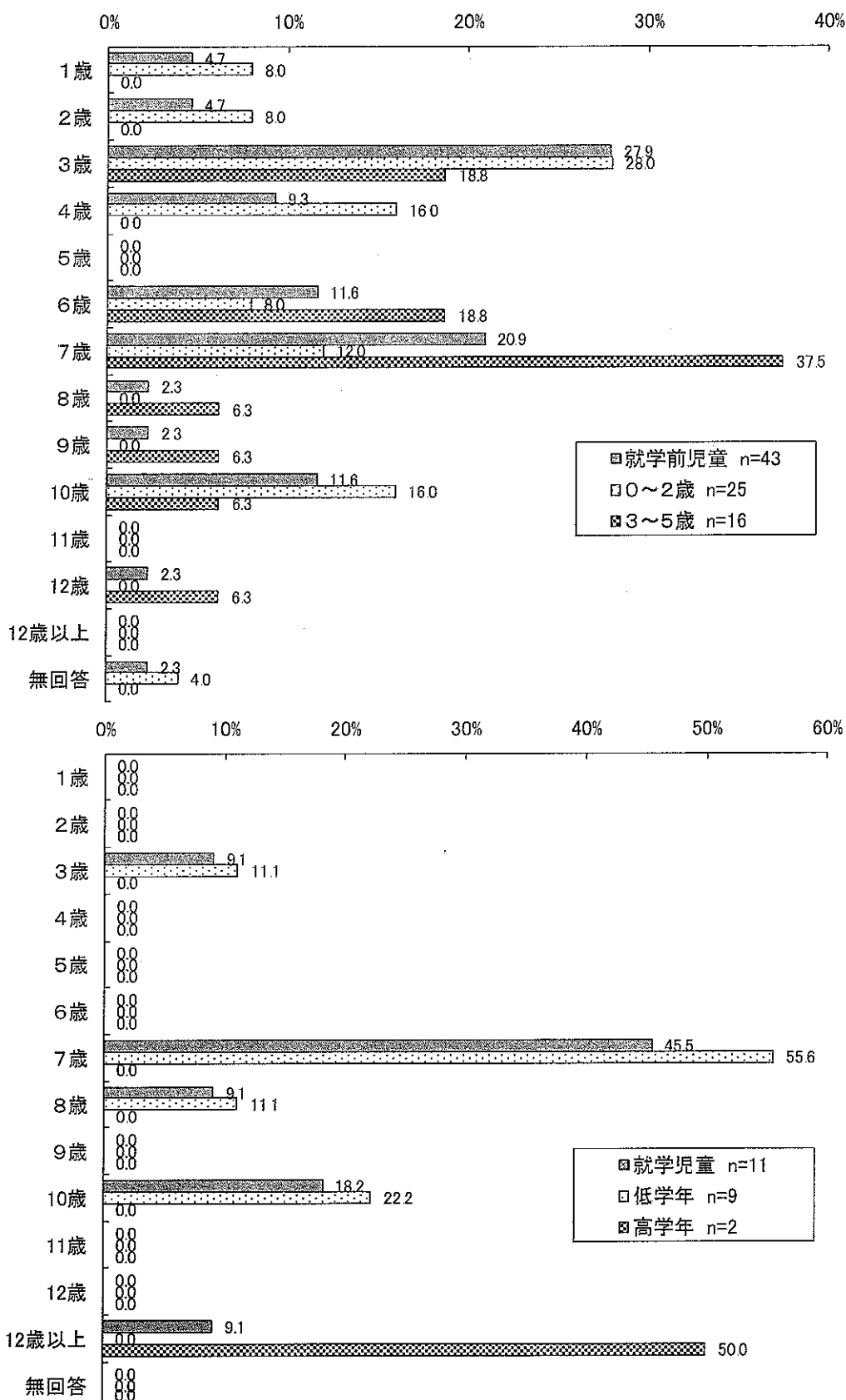
※父親で、現在就労していないのは、就学前児童では該当者なし、就学児童が2人のため、集計結果を表示していません。

図表 3 3 母親(非就労)・就労希望



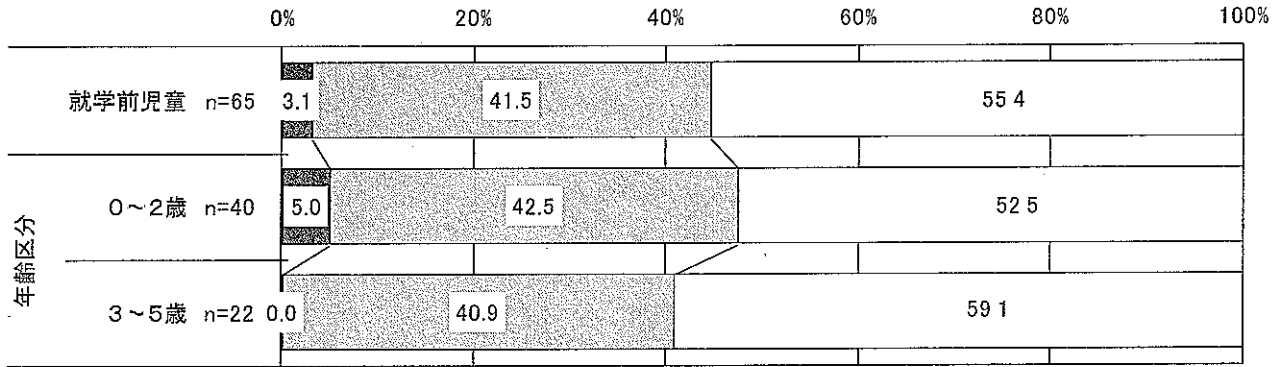
- 就労希望時期（末子年齢）についてみると、就学前児童では、「3歳」が最も多く、27.9%となっています。次いで「7歳」が20.9%、「6歳」が11.6%、「10歳」が11.6%となっています。
- 就学児童（n=11）は「7歳」が最も多く、45.5%となっています。

図表3-4 母親（非就労）・就労希望時期希望（末の子どもの年齢）

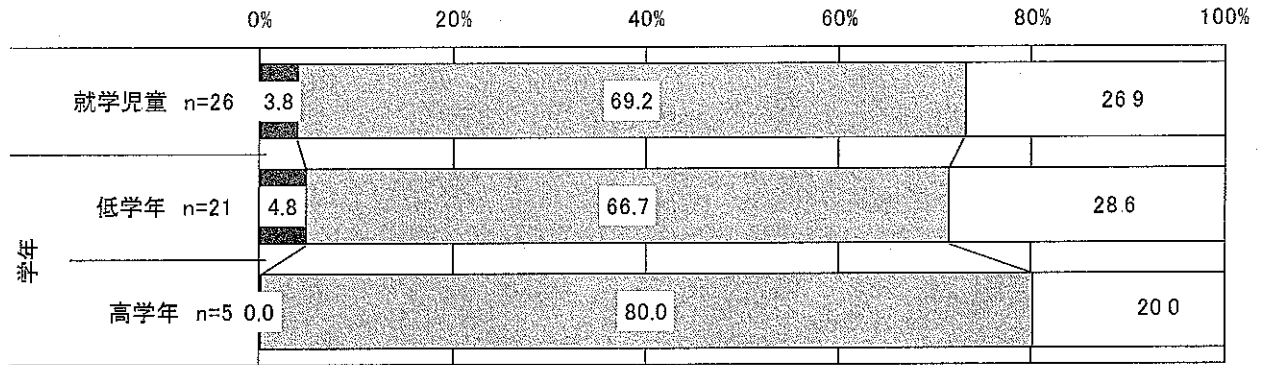


・「1年より先、一番下の子どもが一定年齢になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した母親の就労希望形態についてみると、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」が多く、就学前児童が41.5%、就学児童が69.2%となっています。

図表35 母親(非就労)・就労希望する就労形態



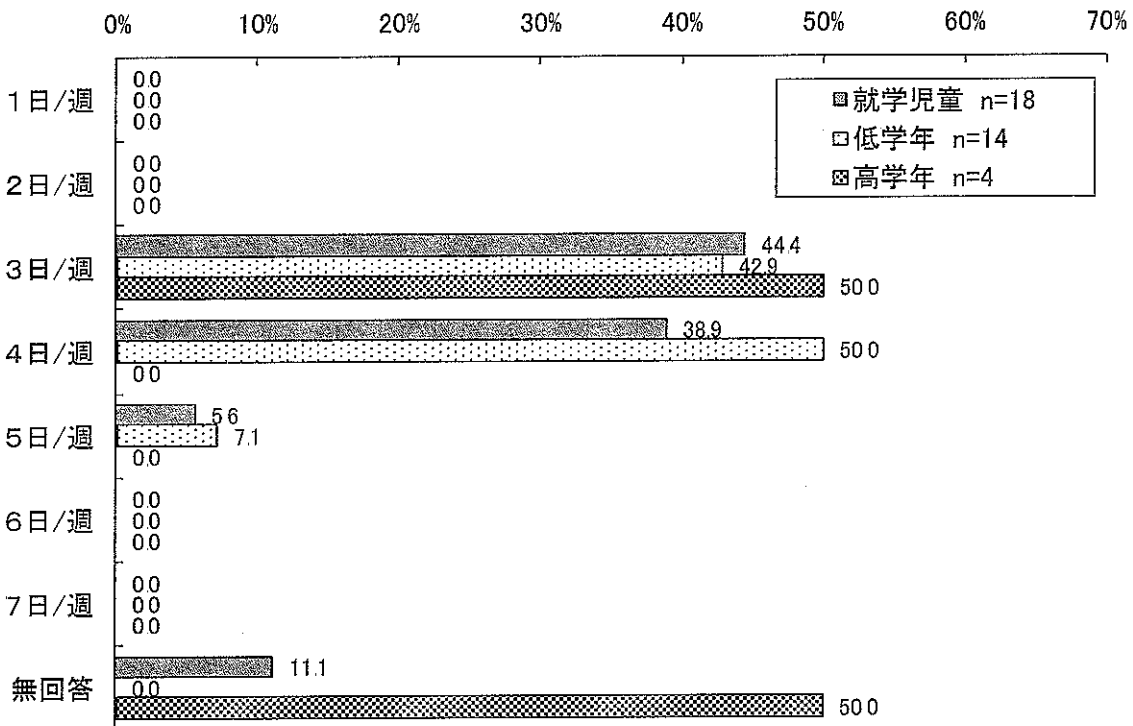
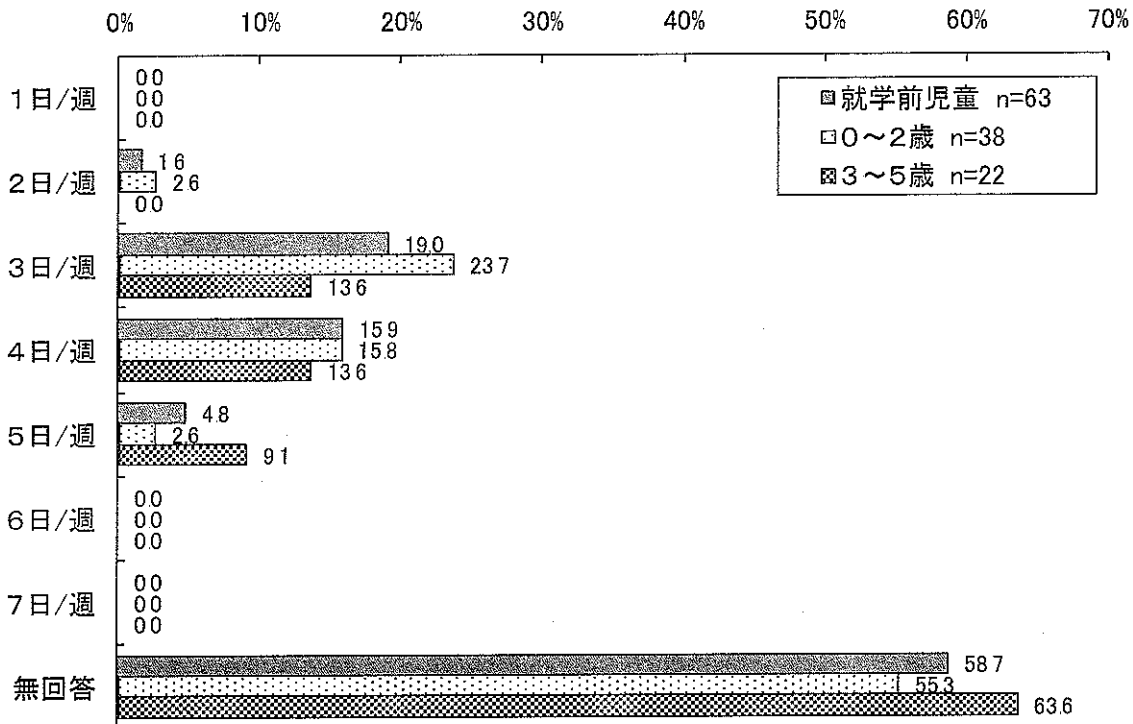
■フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) □パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) □無回答



■フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) □パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) □無回答

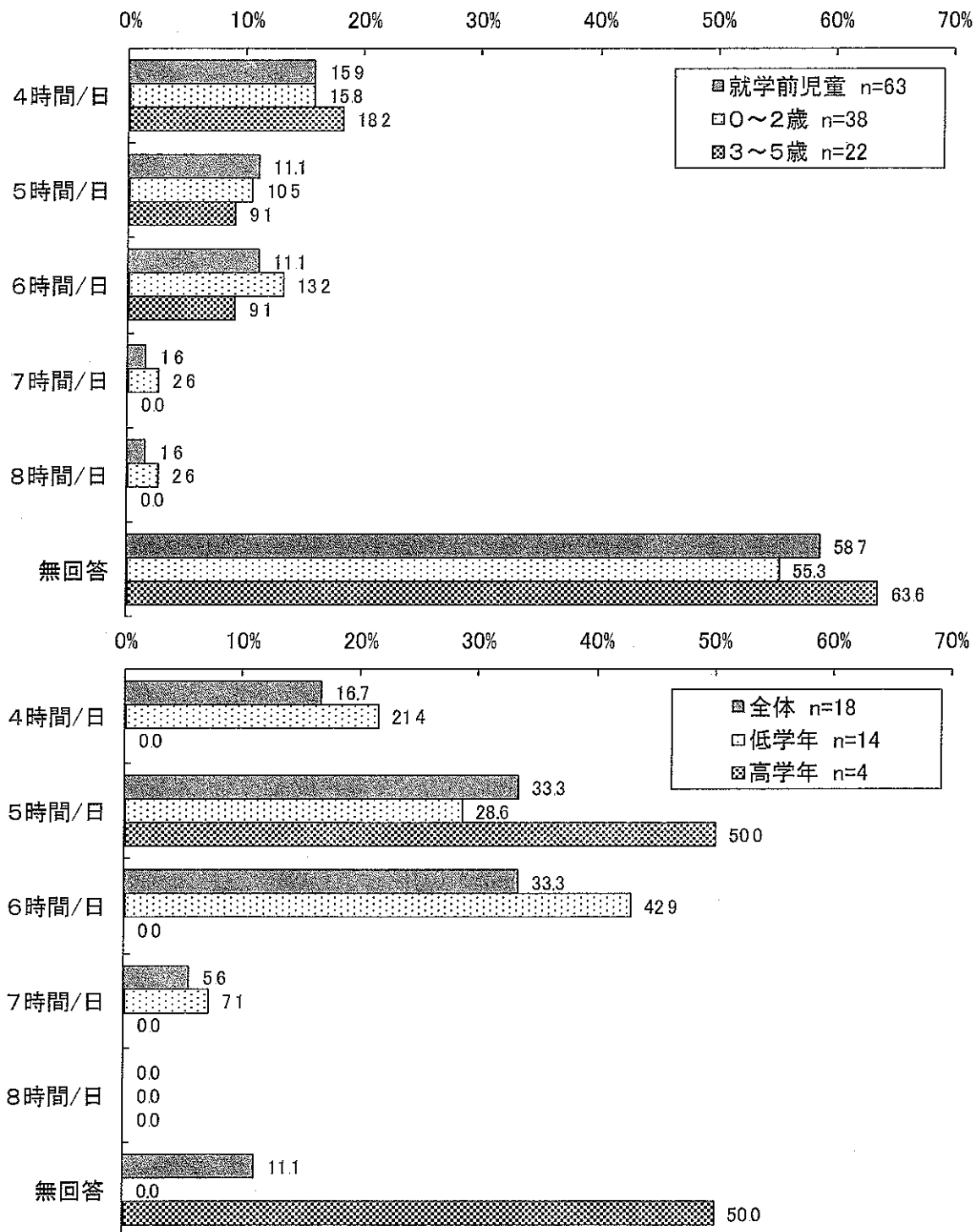
- ・パート・アルバイト等の就労日数をみると、就学前児童では、「3日/週」が最も多く、就学前児童が19.0%、就学児童が44.4%となっています。
- ・次いで「4日/週」が多く、就学前児童が15.9%、就学児童が38.9%となっています。

図表36 母親（非就労）・パートタイム・アルバイトの就労希望日数



- ・パート・アルバイト等の就労日数をみると、就学前児童は、「4時間/日」が最も多く、15.9%となっています。次いで「5時間/日」が11.1%、「6時間/日」が11.1%となっています。
- ・就学児童は、「5時間」が最も多く、33.3%となっています。次いで「6時間」が33.3%、「4時間」が16.7%、「7時間」が5.6%となっています。

図表37 母親（非就労）・パートタイム・アルバイトの就労希望時間



4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

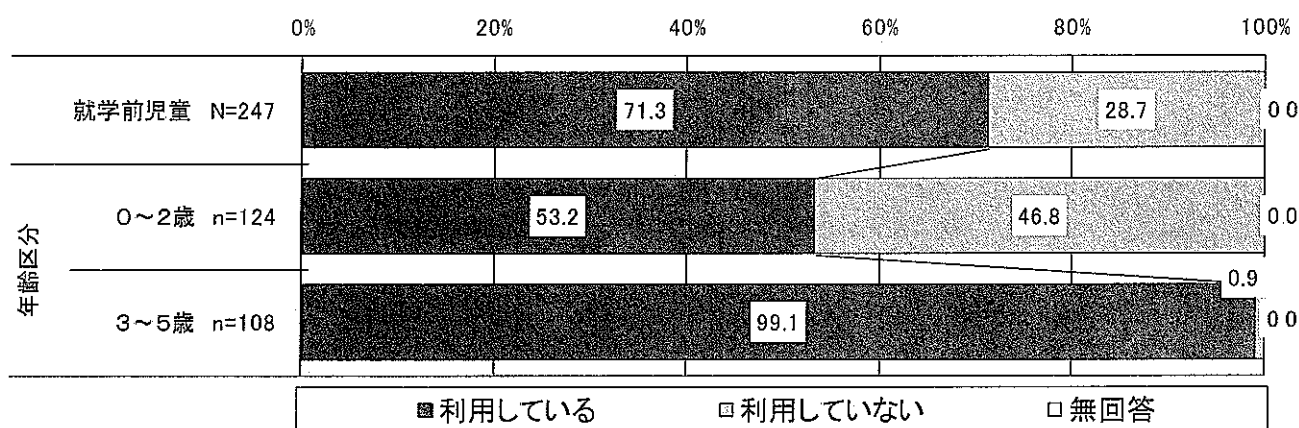
※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問16-1に示した事業が含まれます。

問16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

問16-1 「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

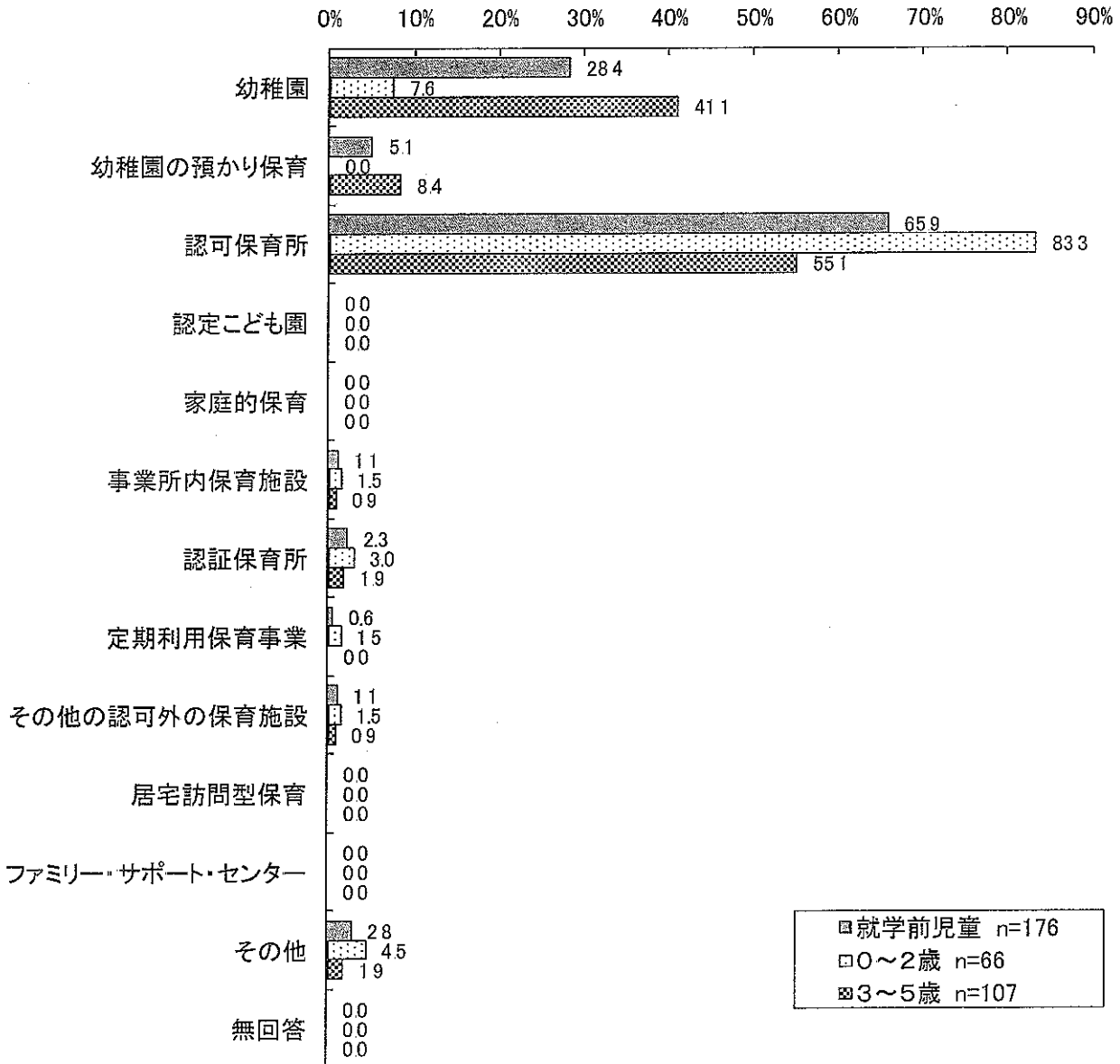
・定期的な教育・保育の事業についてみると、利用している割合は、0～2歳児が53.2%、3～5歳児が99.1%となっています。

図表38 定期的な教育・保育の事業の利用の有無



・教育・保育の事業の種類をみると、「認可保育所」が最も多く、65.9%（0～2歳児 83.2%、3～5歳児55.1%）となっています。次いで「幼稚園」が28.4%（3～5歳児41.1%）となっています。

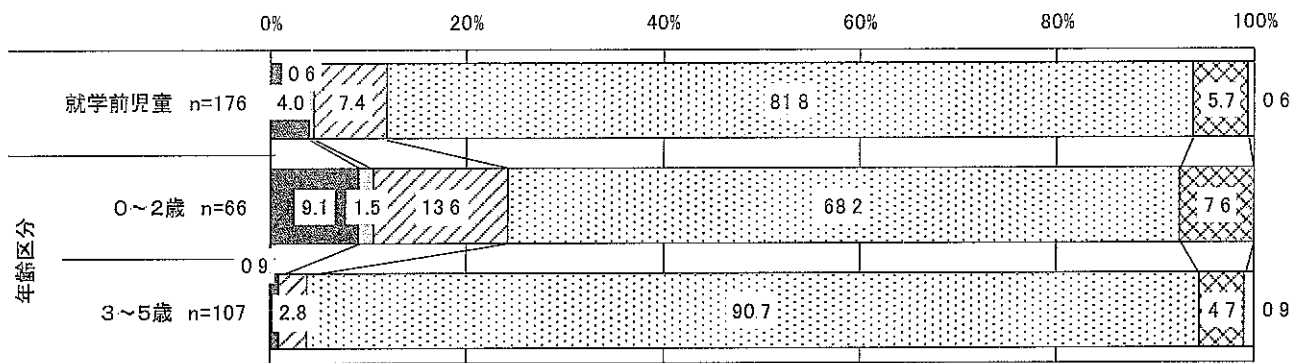
図表 39 平日利用している教育・保育の事業の種類



問 16-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、〔 〕内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

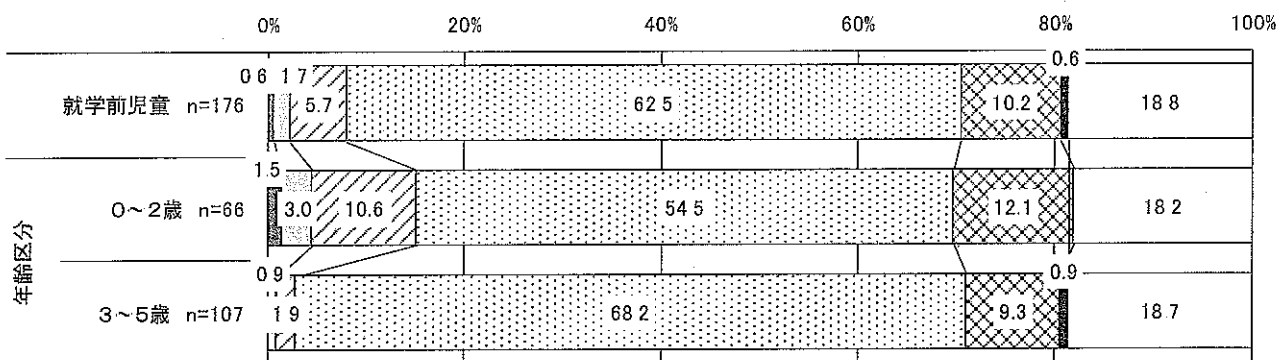
- ・定期的に利用している教育・保育の事業の利用日数についてみると、「5日/週」が最も多く、81.8%となっています。次いで「4日/週」が7.4%、「6日/週」が5.7%、「1日/週」が4.0%となっています。
- ・希望についてみると、「5日/週」が最も多く、62.5%となっています。次いで「6日/週」が10.2%、「4日/週」が5.7%、「2日/週」が1.5%となっています。

図表 4 0 教育・保育事業の利用日数／現在



■ 1日/週 □ 2日/週 ■ 3日/週 □ 4日/週 □ 5日/週 ■ 6日/週 ■ 7日/週 □ 無回答 「0.0%は非表示」

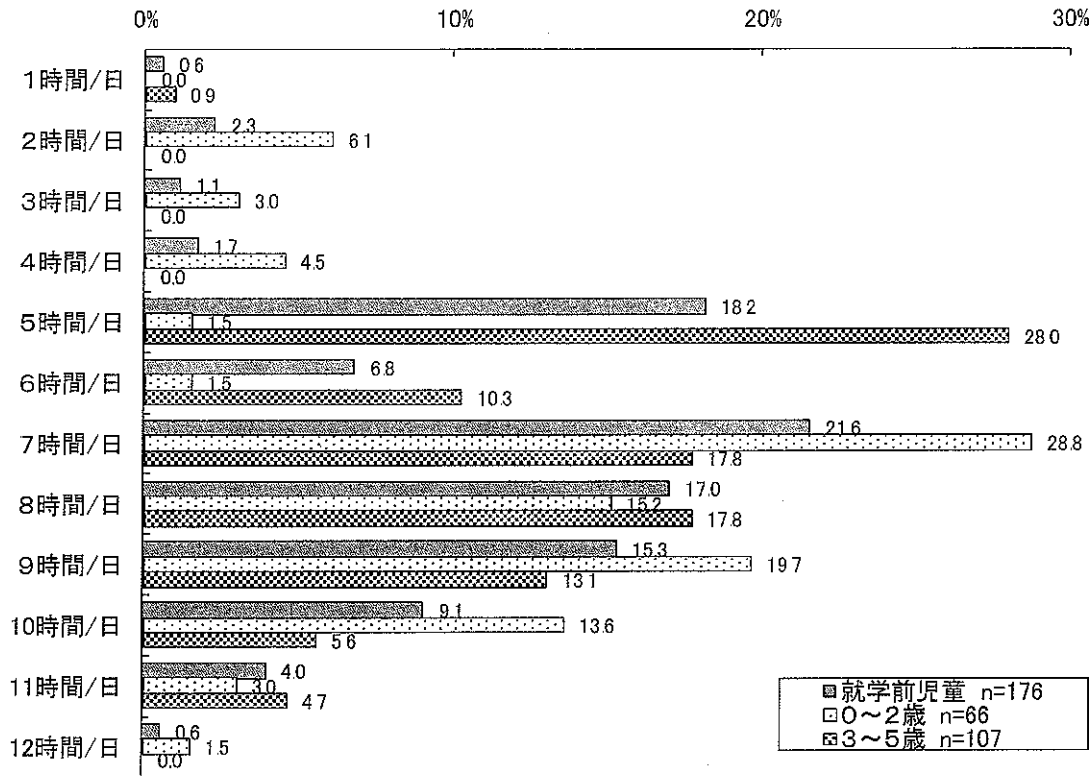
図表 4 1 教育・保育事業の利用日数／希望



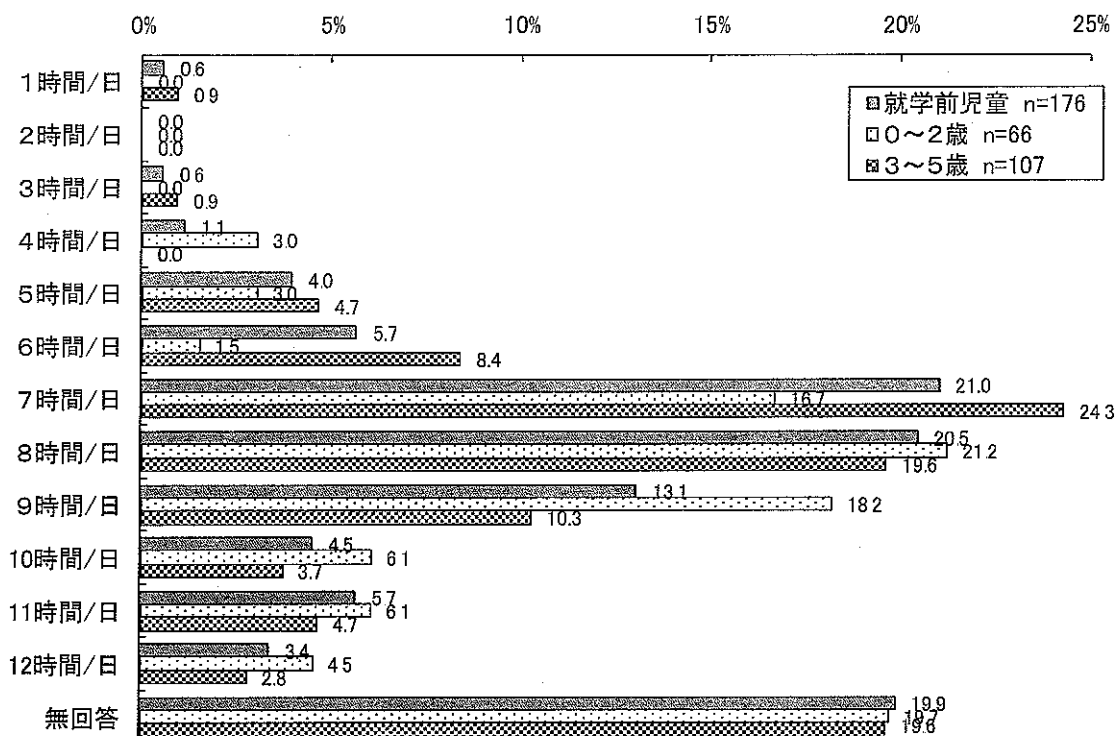
■ 1日/週 □ 2日/週 ■ 3日/週 □ 4日/週 □ 5日/週 ■ 6日/週 ■ 7日/週 □ 無回答 「0.0%は非表示」

- 定期的に利用している教育・保育の事業の利用時間についてみると、「7時間/日」が最も多く、21.6% となっています。次いで「5時間/日」が18.2%、「8時間/日」が17.0%、「9時間/日」が15.3% となっています。
- 利用希望時間についてみると、「7時間/日」が最も多く、21%となっています。次いで「8時間/日」が20.5%、「9時間/日」が13.1%、「6時間/日」が5.7%となっています。

図表 4 2 教育・保育事業の利用時間／現在

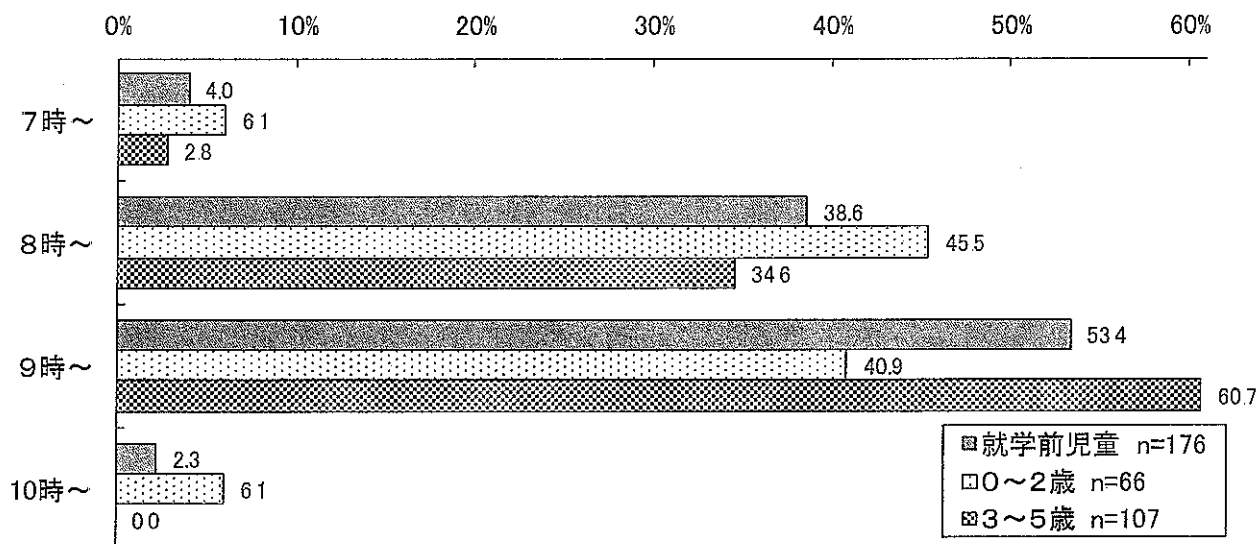


図表 4 3 教育・保育事業の利用時間／希望

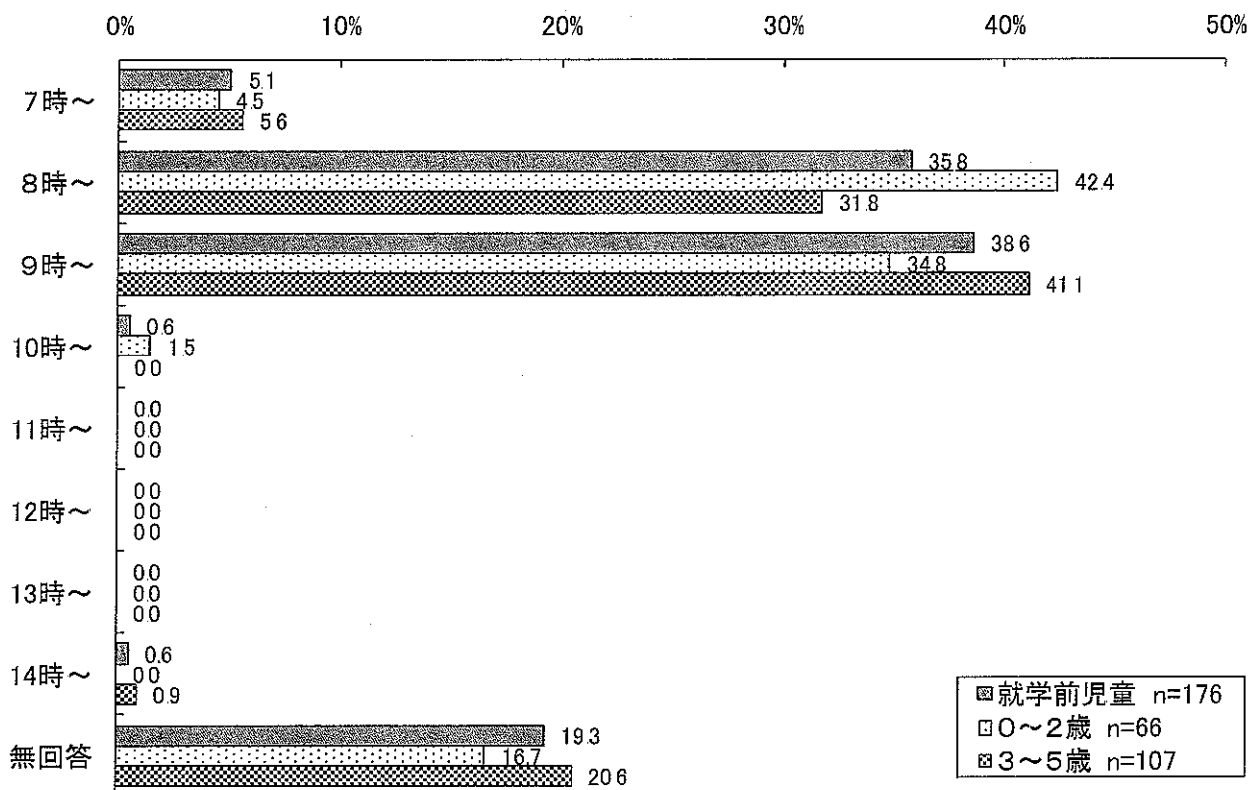


- 教育・保育の事業の利用開始時間についてみると、「9時～」が最も多く、53.4%となっています。次いで「8時～」が38.6%
- 利用開始の希望時間についてみると、「9時～」が最も多く、38.6%となっています。次いで「8時～」が35.8%となっています。

図表 4 4 教育・保育事業の利用開始時間／現在

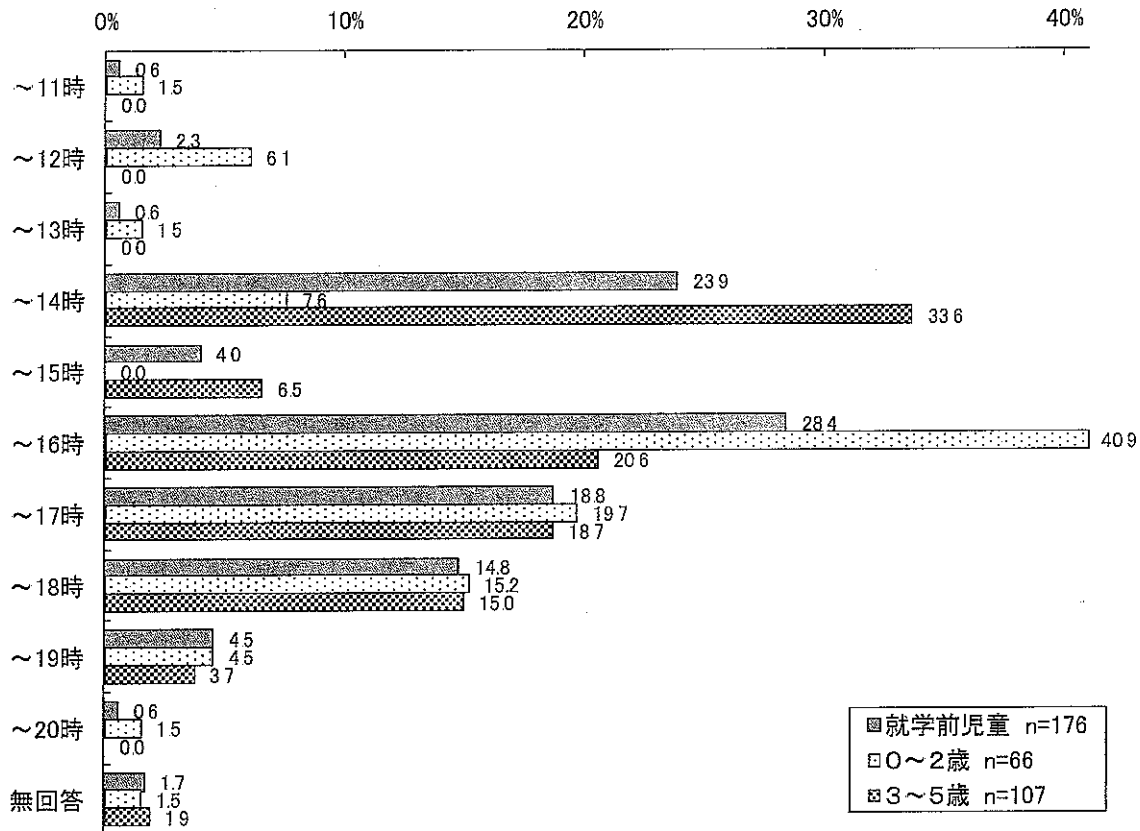


図表 4 5 教育・保育事業の利用開始時間／希望

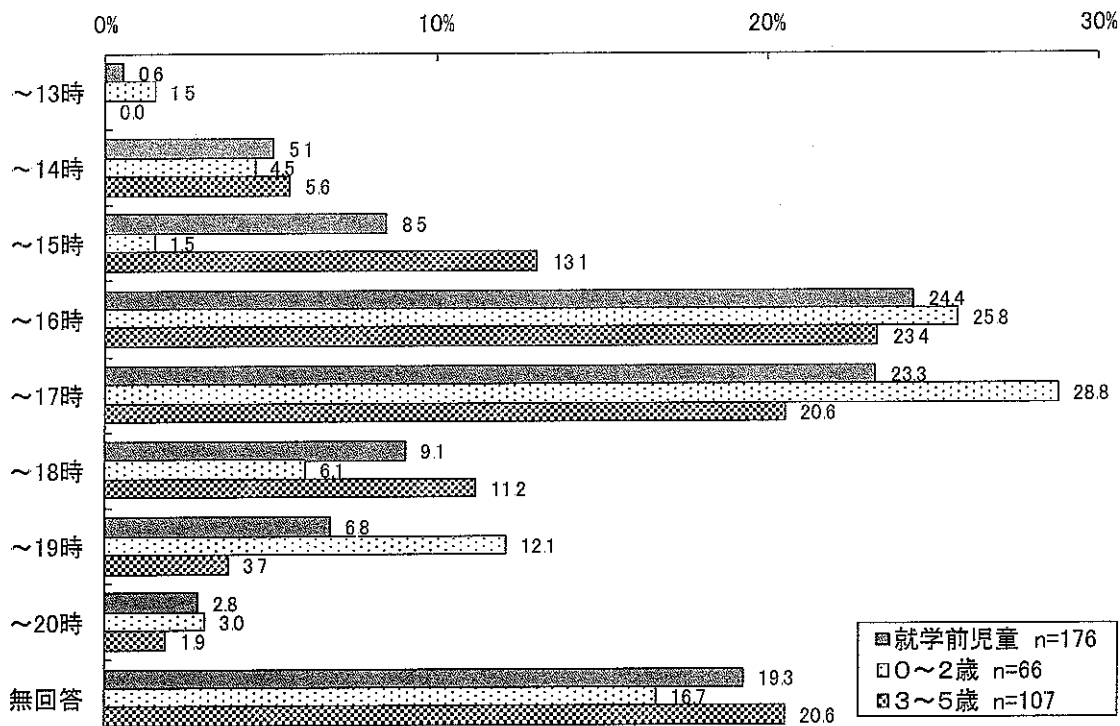


- ・終了時間についてみると、「～14時」が最も多く、23.9%となっています。次いで「～17時」が18.8%、「～18時」が14.8%となっています。
- ・利用終了の希望時間をみると、「～16時」が最も多く、24.4%となっています。次いで「～17時」が23.3%、「～18時」が9.1%、「～15時」が8.5%となっています。

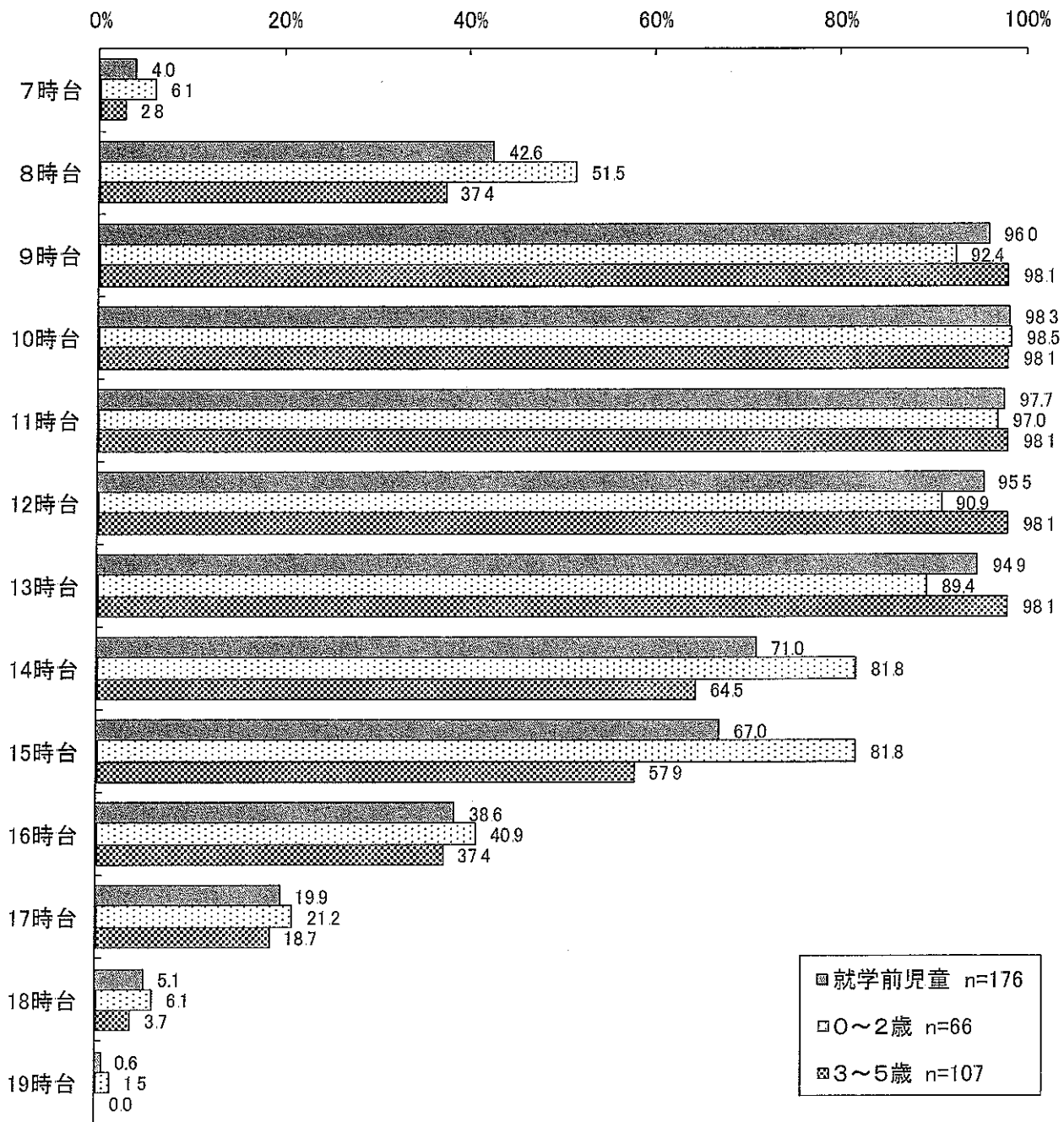
図表4-6 教育・保育事業の利用終了時間／現在



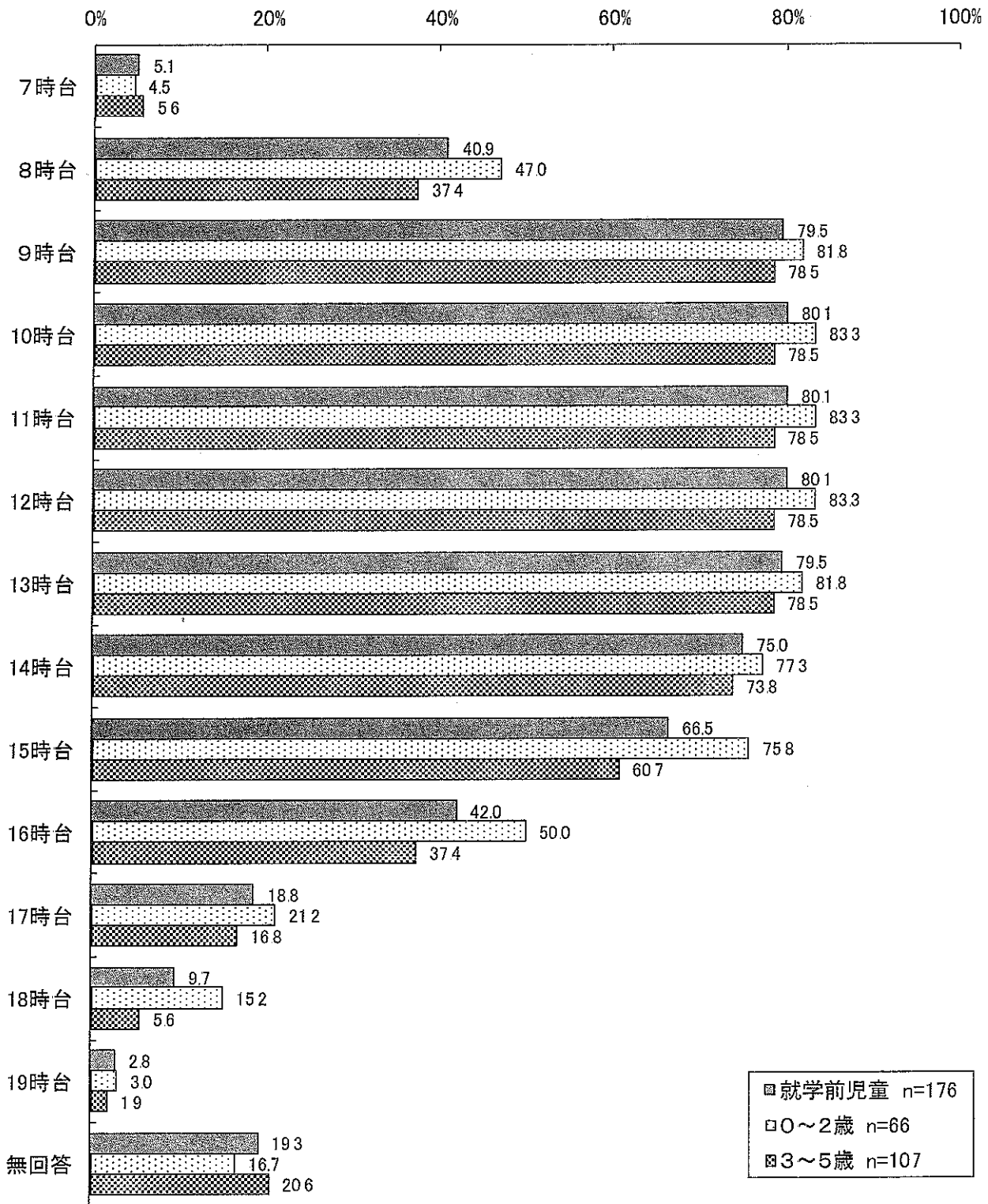
図表4-7 教育・保育事業の利用終了時間／希望



図表 4 8 教育・保育事業利用開始から終了までの時間帯／現在



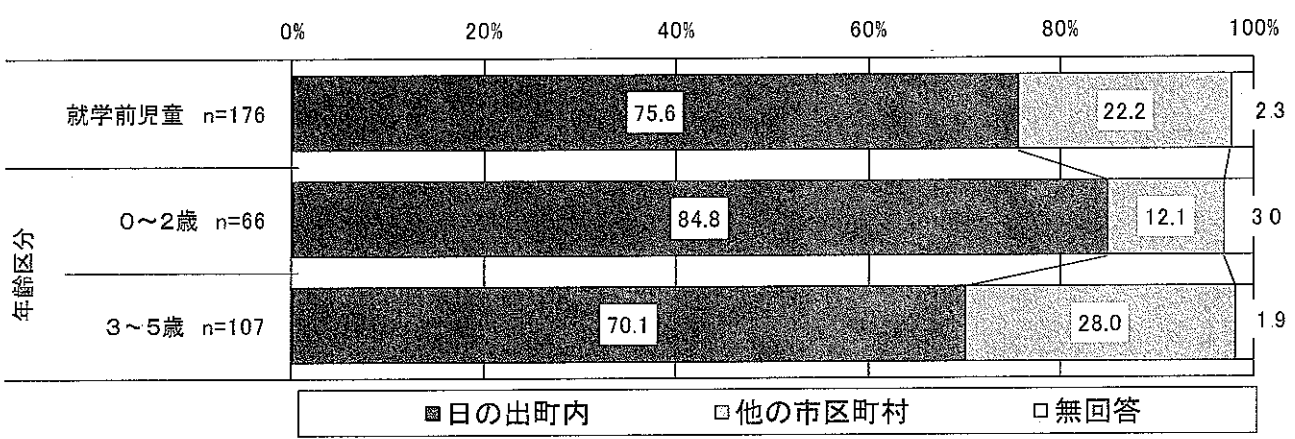
図表49 教育・保育事業利用開始から終了までの時間帯／希望



問 16-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。(前)

・教育・保育事業の実施場所についてみると、「日の出町内」が多く、756(0~2歳 84.8%、3~5歳 70.1%) %となっています。

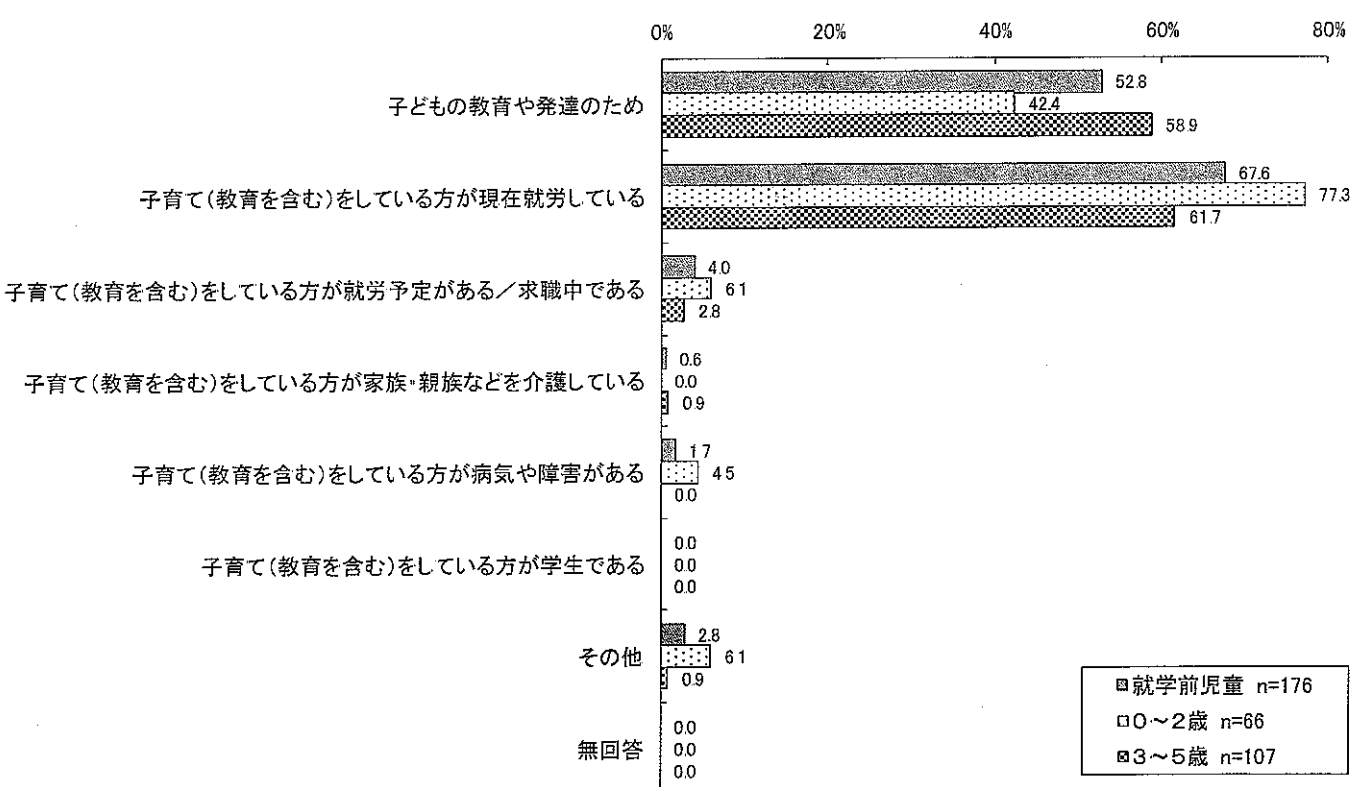
図表 5 0 教育・保育事業の実施場所



問 16-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。(前)

・教育・保育の事業の利用理由についてみると、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が最も多く、67.6%となっています。次いで「子どもの教育や発達のため」が52.8%となっています。

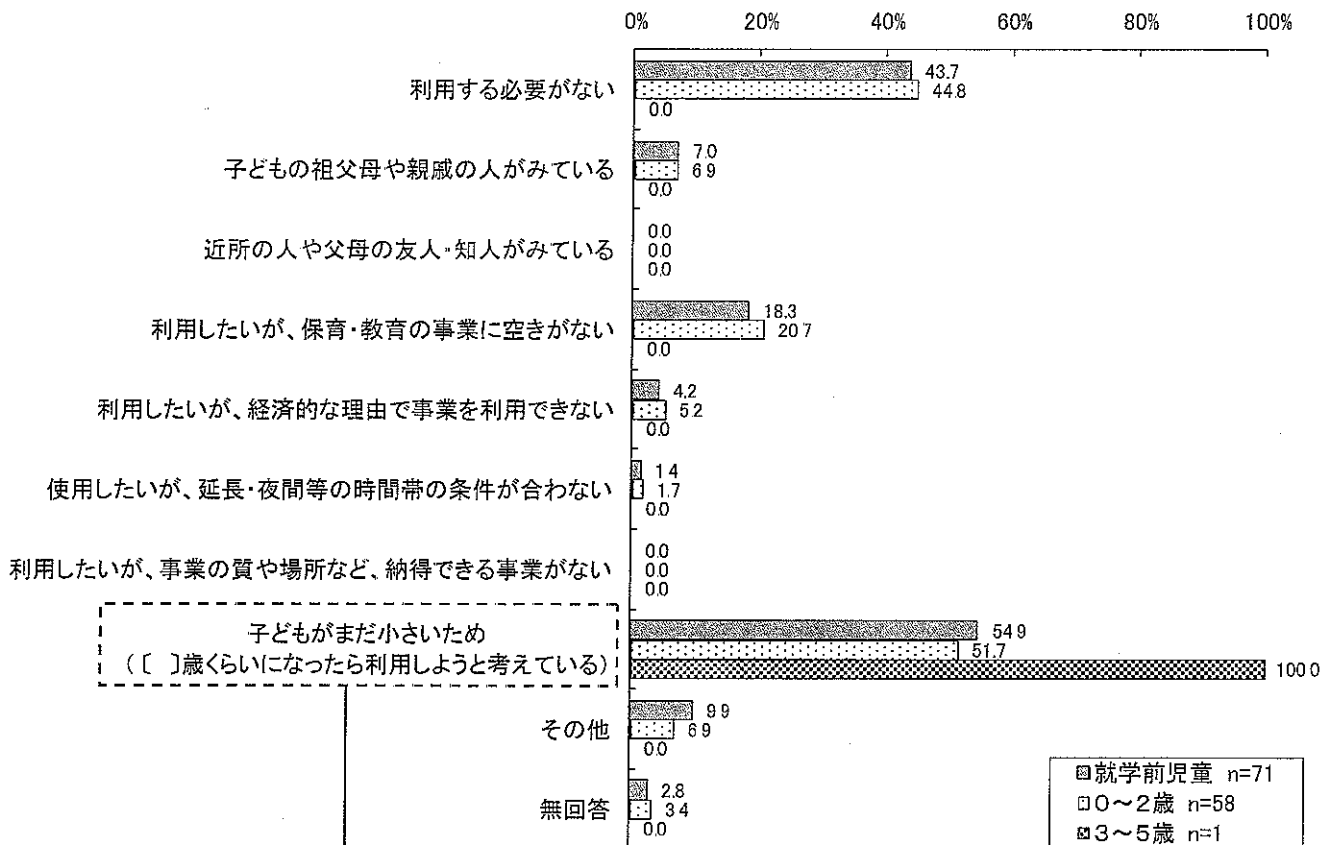
図表 5 1 教育・保育事業の利用理由



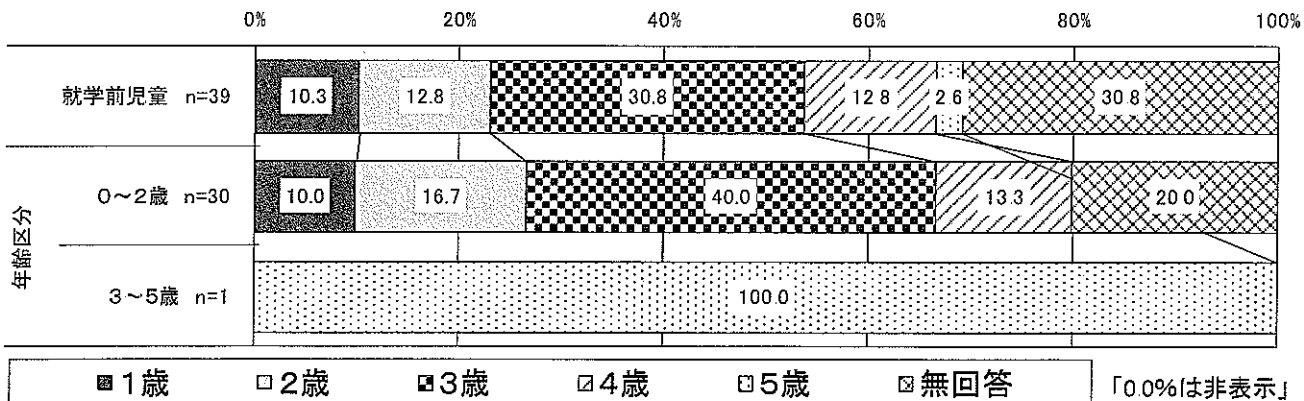
問 16-5 「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- ・教育・保育の事業を利用していない理由についてみると、「子どもがまだ小さいため（歳くらいになったら利用しようと考えている）」が最も多く、54.9%となっています。次いで「利用する必要がない」が43.7%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が18.3%となっています。
- ・利用を開始したいと考えている年齢についてみると、「3歳」が最も多く、30.8%となっています。次いで「2歳」が12.8%、「4歳」が12.8%、「1歳」が10.3%となっています。

図表 5 2 教育・保育事業の未利用理由



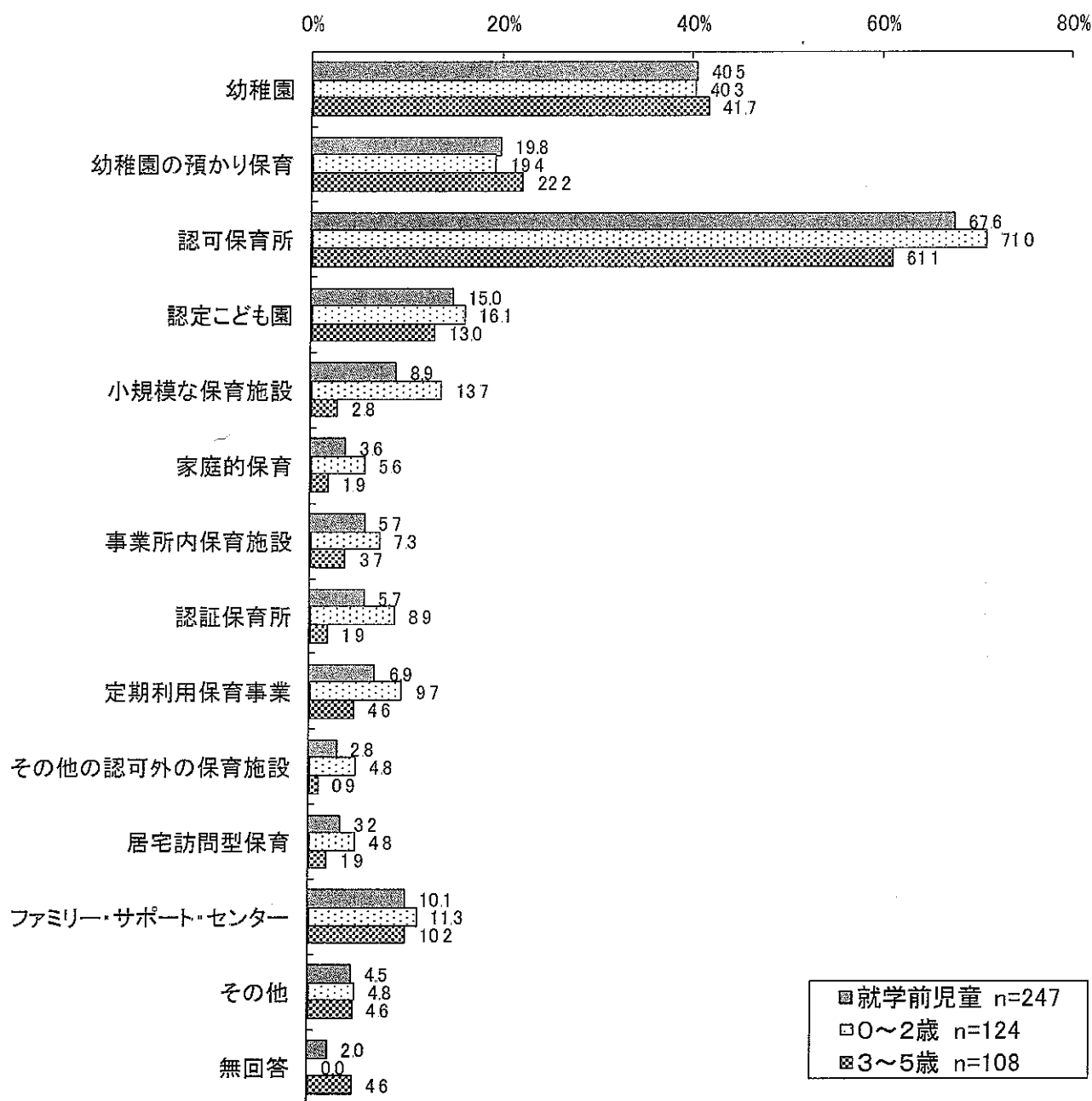
図表 5 3 利用開始年齢



問 17 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- ・定期的に利用したい教育・保育の事業についてみると、「認可保育所」が最も多く、67.6%（0～2歳 71.0%、3～5歳 61.1%）となっています。次いで「幼稚園」が40.5%（0～2歳 40.3%、3～5歳 41.7%）、「幼稚園の預かり保育」が19.8%、「幼稚園の預かり保育」が19.8%、「認定こども園」が15.0%、「認定こども園」が15.0%となっています。

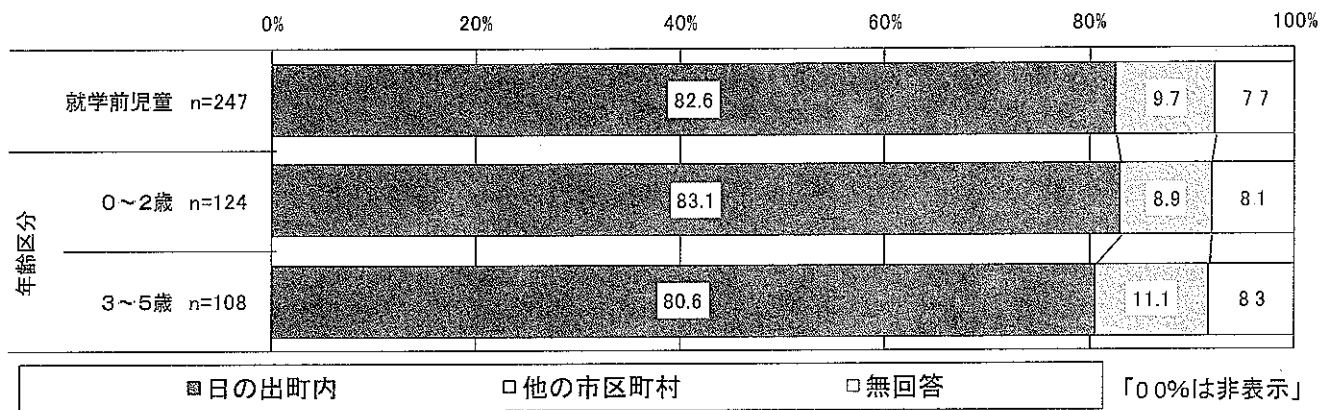
図表 5.4 平日に定期的に利用したい教育・保育の事業



問 17-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

・教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「日の出町内」が82.6%（0～2歳83.1%、3～5歳80.6%）となっています。

図表55 教育・保育事業を利用したい場所

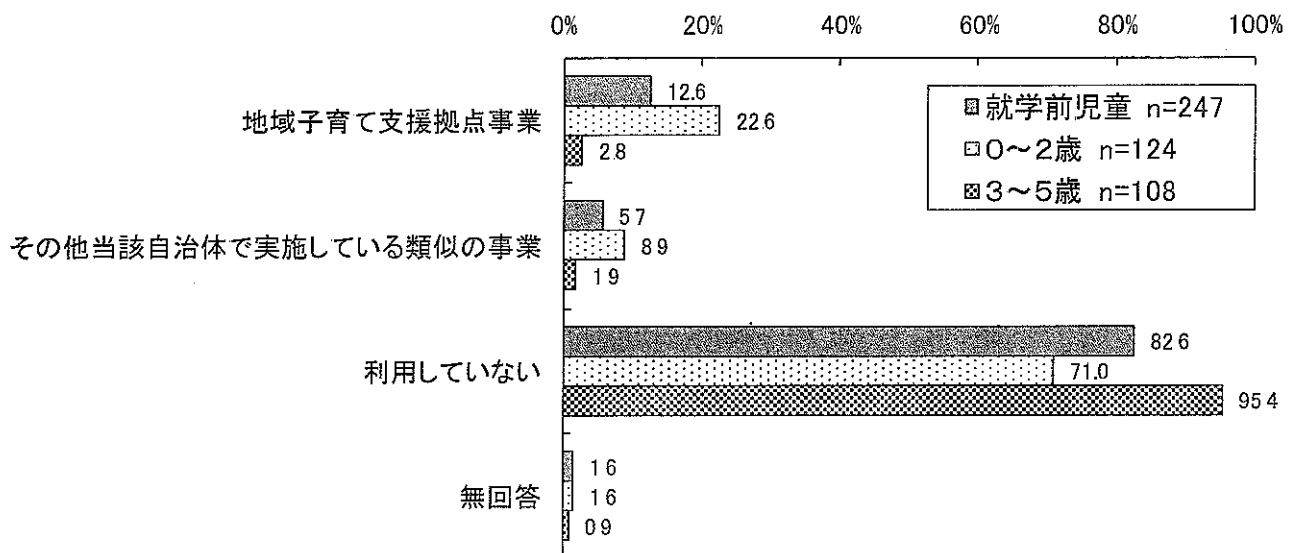


5. 地域の子育て支援事業の利用状況

問 18 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、日の出町では、児童館で実施している「子育て講座」や「子育てサークル」などの事業のことです。）を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

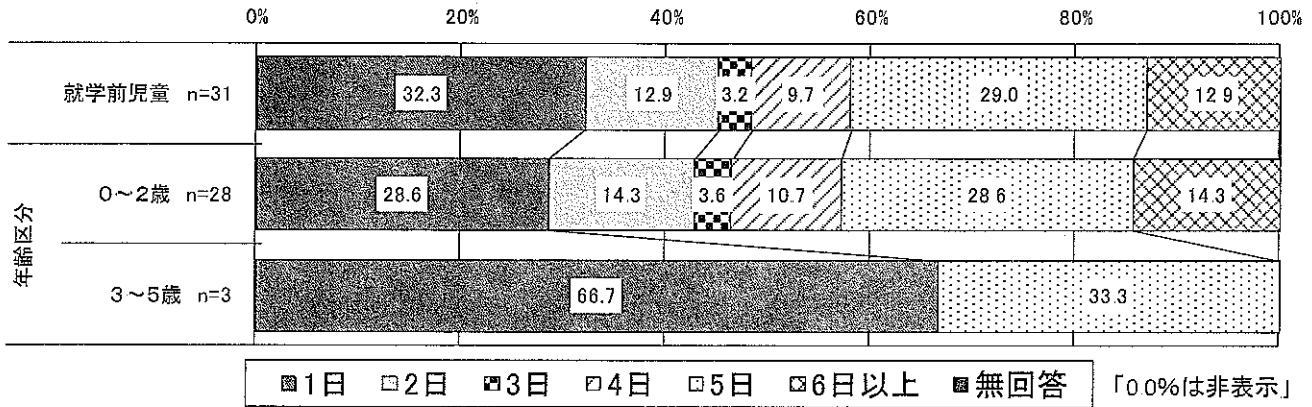
- ・地域子育て支援事業の利用状況についてみると、「利用していない」が最も多く、82.6%（0～2歳 71.0%、3～5歳 95.4%）となっています。
- ・「地域子育て支援拠点事業」は 12.6%（0～2歳 22.6%、3～5歳 2.8%）、「その他当該自治体で実施している類似の事業」が 5.7%（0～2歳 8.9%、3～5歳 1.69%）%となっています。

図表 5 6 利用中の地域の子育て支援事業

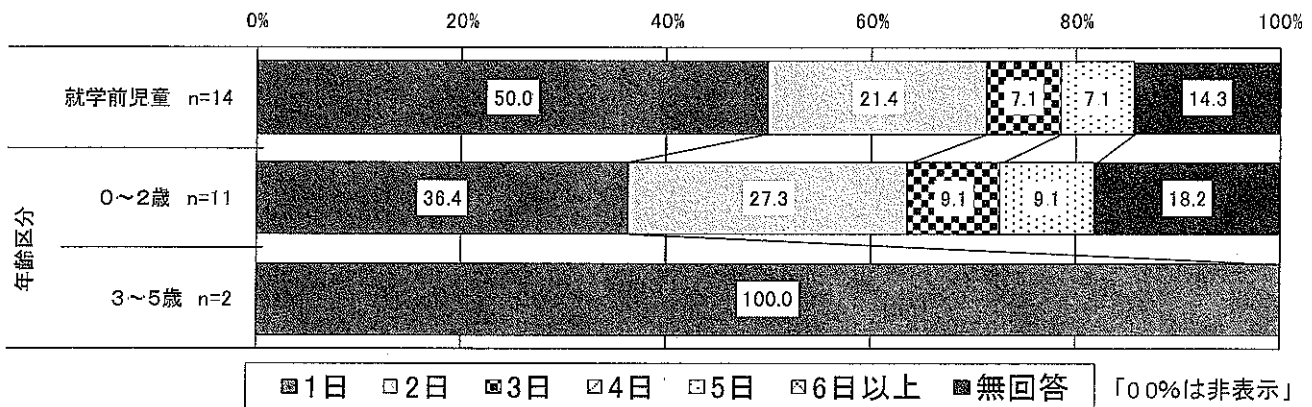


- ・地域子育て支援拠点事業の利用日数（回数）についてみると、「1日」が最も多く、32.3%となっています。次いで「5日」が29%、「2日」と「6日以上」が12.9%となっています。
- ・類似事業についてみると、「2日」が最も多く、21.4%となっています。次いで「3日」が7.1%、「5日」が7.1%となっています。

図表 5 7 地域子育て支援拠点事業 利用日数/月



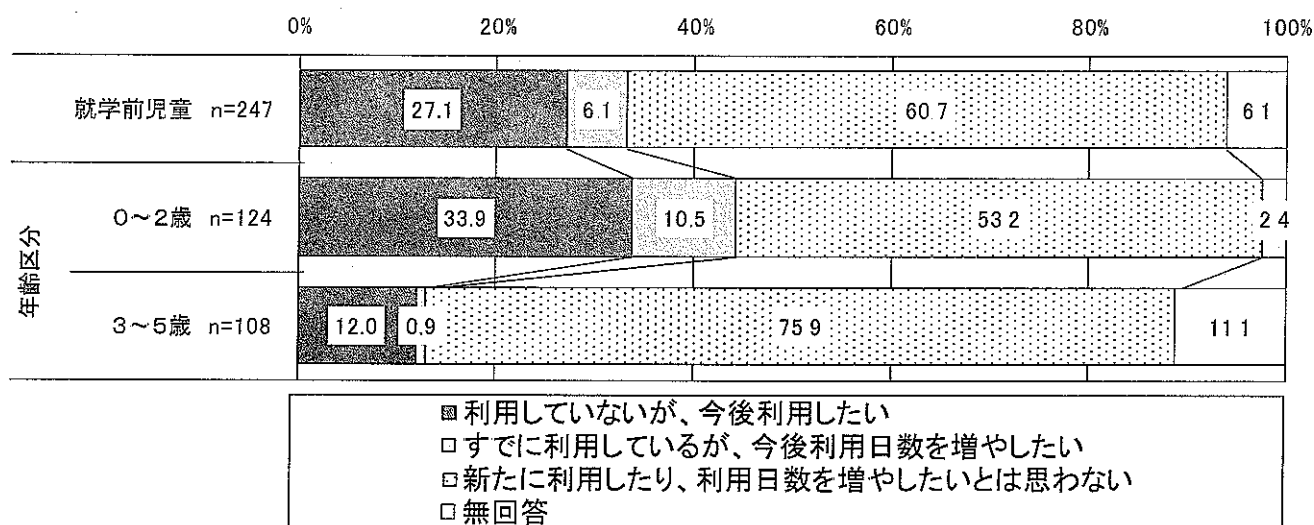
図表 5 8 その他当該自治体で実施している類似の事業 利用日数/月



問 19 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

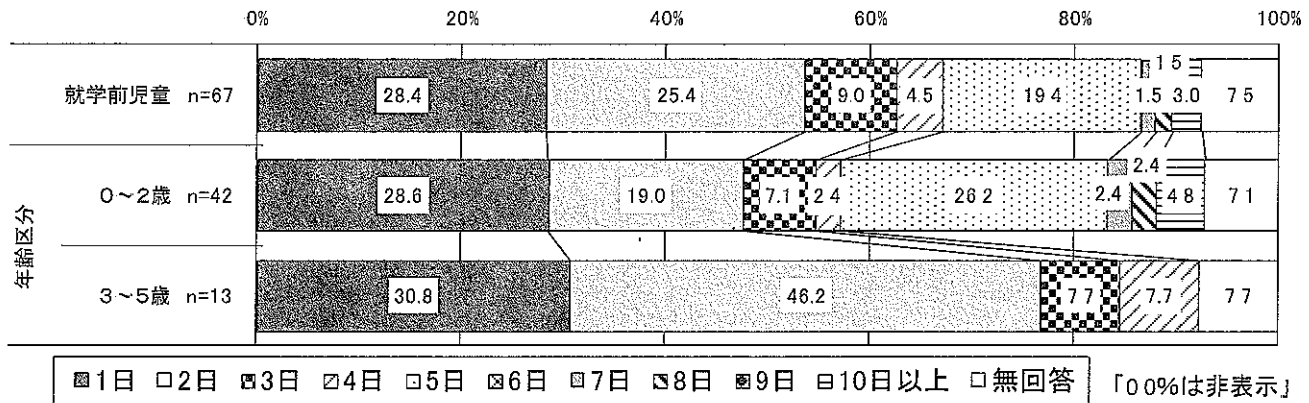
・地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も多く、60.7%となっています。次いで「利用していないが、今後利用したい」が27.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が6.1%となっています。

図表 5 9 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

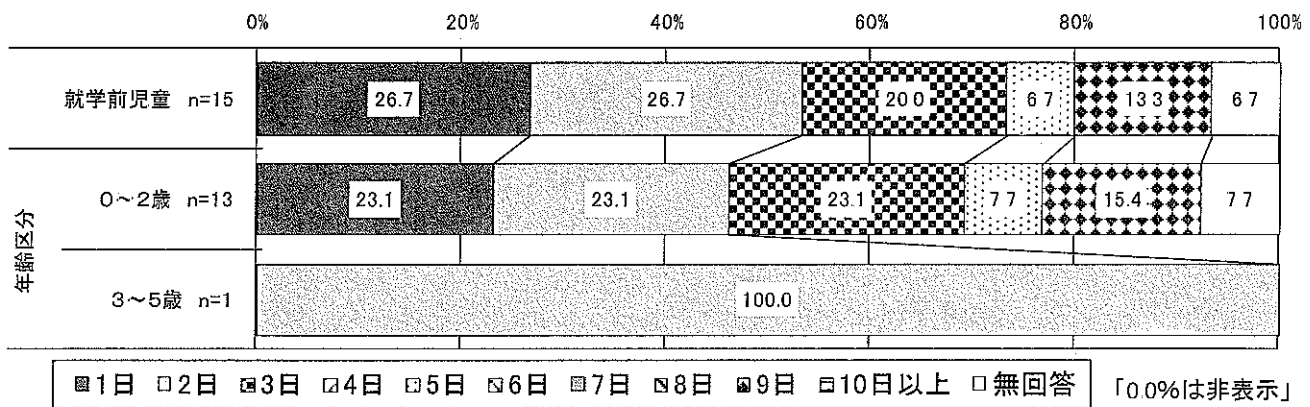


- ・「利用していないが、今後利用したい」と回答した人について利用日数をみると、「1日」が最も多く、28.4%となっています。次いで「2日」が25.4%、「5日」が19.4%、「3日」が9%となっています。
- ・「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人について利用日数をみると、『No.』についてみると、「2日」が最も多く、26.7%となっています。次いで「3日」が20%、「9日」が13.3%、「5日」が6.7%となっています。

図表60 利用していないが、今後利用したい・利用日数



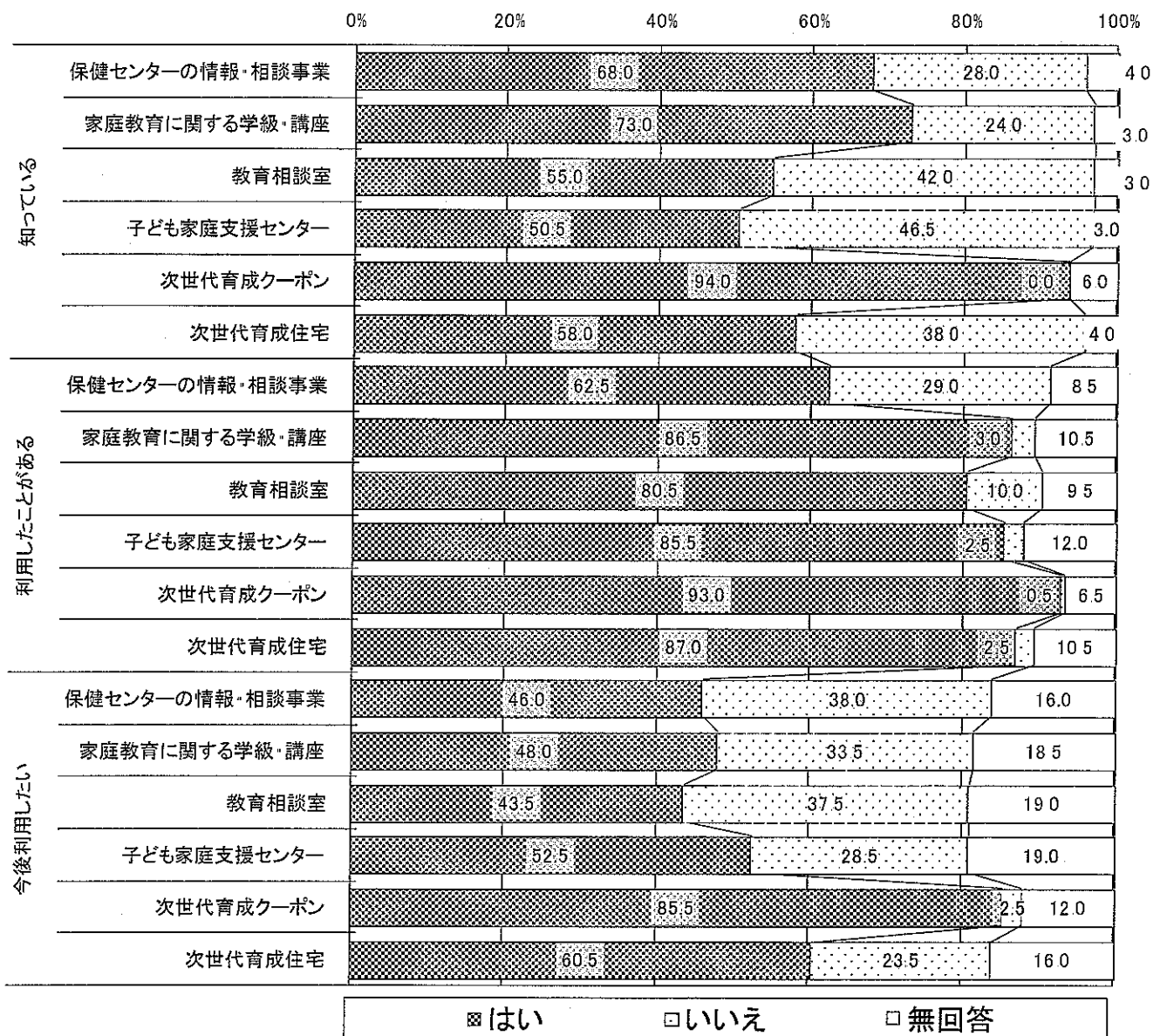
図表61 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい・利用日数



問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。(共 22)

- ・就学前児童で、知っている割合が最も高いのは、「次世代育成クーポン」で94.0%、利用したことがある(93.0%)、今後利用したい(85.5%)割合も高くなっています。
- ・一方、知っている割合が低いのは、「子ども家庭支援センター」(50.5%)、「教育相談」(55.5%)、「次世代育成住宅」(58.0%)などとなっています。

図表 6 2 地域の子育て支援事業の認知度／就学児童



- ・就学前児童で、知っている割合が最も高いのは、「次世代育成クーポン」で95.5%、利用したことがある（97.2%）、今後利用したい（89.1%）割合も高くなっています。
- ・一方、知っている割合が低いのは、「子ども家庭支援センター」（55.9%）、「教育相談」（63.6%）、「次世代育成住宅」（64.0%）などとなっています。

図表 6 3 地域の子育て支援事業の認知度／就学前児童

